

2014 年度

インターンシップ・プログラム

実施報告書

2014 年 12 月



公益
財団
法人

大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

ごあいさつ

2014年度インターンシップ・プログラムの実施にあたり、ご協力を賜りました企業・団体や大学、その他関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

お蔭をもちまして、今年度は417名の大学生が就業体験をさせていただく機会を与えていただきました。それら修了生が実践から「働く」を考え社会人基礎力を養えたものと認識しております。

受入れ先、学生の双方がよりメリットを享受できるプログラムとして、発展できるよう皆様より引き続きご理解とご協力を賜りたく、今年度のインターンシップ事業の実施状況を本書にまとめました。ご高覧いただければ幸いです。

プログレスコース 総合コーディネーター
渡邊 博己
京都学園大学 法学部 教授



プログレスコースでは、受入れ企業様の提供するプロジェクトの目的達成のため、学生が主体的に計画を立て、実践を図っていくわけですが、とくに実践過程で想定外のさまざまな困難に遭遇し、そして、計画の甘さ、実行力などの問題などに気付くのが通例です。また、そこに学生達が次代の担い手として成長するきっかけがあると考えております。

今年度も魅力的なプロジェクトで学生を受け入れ頂きました企業様に厚く御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

ビジネスコース 総合コーディネーター
多田 実
同志社大学 政策学部 教授



おかげさまで、今年度も受講生の成長が実感できるプログラムになりました。インターンシップが就職活動に直結している「就活前哨戦」のような感覚で捉えている学生が増えているようですが、本プログラムでは、当初から一貫して「教育プログラム」であることを念頭に置き、単なる「社会人体験」ではなく受講後の学生生活を考える一助となることを願っております。次年度は、事後アンケートでの要望にも応える「マイナーチェンジ」を検討中です。今後とも皆様のご支援ご協力よろしくお願いたします。

パブリックコース 総合コーディネーター
古川 秀夫
龍谷大学 国際文化学部 教授



私が担当するNPOクラスの受講生の実習内容は奉仕・ボランティア活動と呼べるものです。中間指導にうかがった一つの施設での実習は小学生の1週間に及ぶキャンプのサポートをするものでした。その活動に長く携わられている方から、子どもたちの成長よりもお手伝いをしてくれる大学生の成長のほうが目覚ましいというお話をお聞きました。少し申しわけないと思いつつも、本プログラムの意義を再確認させていただくことができました。

目 次

第1章 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 インターンシップ事業の変遷

第2章 2014年度インターンシップ・プログラムの実施内容

- I. プログラムの概要
- II. プロGRESSコースの実施内容
- III. ビジネス・パブリックコースの実施内容
- IV. プログラムを運用するにあたって

第3章 受入れ企業・団体のアンケート結果から

第4章 受講生のアンケート結果から

第5章 今後の課題

- I. プロGRESSコースの課題
- II. ビジネス・パブリックコースの課題

<資料>

- 資料1. 出願者・受講者数と受入れ企業・団体数について
- 資料2. 参加団体・出願者・受講者・コーディネーター数の推移
- 資料3. エントリー企業・団体一覧
- 資料4. プロGRESSコース講義概要
- 資料5. プロGRESSコースプロジェクト別コーディネーター一覧
- 資料6. ビジネス・パブリックコース講義概要
- 資料7. ビジネスコース・パブリックコースコーディネーター一覧
- 資料8. 受講生意識調査集計結果

第1章 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 インターンシップ事業の変遷

公益財団法人 大学コンソーシアム京都（以下「本財団」）が窓口となって実施するインターンシップ・プログラム（以下「プログラム」）は、1997年に当時の通商産業省・文部省・労働省が合同で「インターンシップ推進にあたっての基本的な考え方」を取りまとめたことと並行して、本財団に「インターンシップ制度研究会」を発足させたことにはじまる。この研究会における検討の結果、インターンシップは「来るべき新時代に向けての産官学地域等が協働で構築する新たな人材育成を目的とする社会的制度であり、高等教育改革に資するプログラム」であるとして翌1998年度より本格的に始動した。

本プログラムは、開始から一貫して正規の大学教育の一環として明確に位置づけ、産官学地域連携による教育プログラムとして実施してきた。実体験と教育研究の融合による「学習意欲の喚起」「高い職業意識の育成」「自主性・独創性のある人材育成」を目的として、単なる就職のためのインターンシップではないことを強調している。これらの目的遂行のため、コーディネーターと事務局の協力による事業推進、受入れ先への訪問や意見交換会の実施、修了生や受入れ先担当者のゲストスピーカーとしての招聘、ニーズと情勢に応じたプログラムの改変、マッチングや事務処理の効率化のための事務システム導入などに努めてきた。これまでに京都地域にある大学・短期大学（以下「大学」）のすべての学生が参加できるというスケールメリットを活かして、延べ4,700を超える企業や行政機関、非営利組織などの協力のもと、約8,100名の学生が参加し、受入れ先や大学、受講生、指導するコーディネーターなどの意見を反映しながら、毎年検討を積み重ねてプログラムの改善を図っている。

また、2005年度には、大学共同の取り組みとして、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）」に選定されるなど、社会的にも教育プログラムとして高い評価を得ることができた。

本プログラムの開始以降、インターンシップは全国の多くの大学で独自の取り組みが行われ、文部科学省の調査¹⁾では、インターンシップを実施している大学は、1996年度に17.7%であったが、2007年度には67.7%となり500以上の大学で展開されている。また、京都地域の大学においても、その約6割で独自のインターンシップ事業を実施している。このようにインターンシップは、すでに普及・啓発の時期から定着の時期も過ぎ、一般名詞化しており、今後のインターンシップのあり方についての検討が必要となっている。そこで、プログラム開始10周年を迎えた2007年度より「インターンシップ研究会」を設置し、これまでのプログラムの到達点について総括を行うとともに、教育プログラムとしての今後の長期的な方向性について検討を行った。2008年度は特色GPの最終年度にあたり、研究成果のまとめとして報告書を作成したほか、事業開設10年を節目に行った受入れ先へのヒアリングや修了生等への調査結果の分析を進め、今後の展開についての提言書（インターンシップ研究会報告書）を取りまとめた。

当プログラムを正課科目として成立するよう各大学と連携を行ってきたが、より適正に事業を実施するため、2014年度から当プログラムを受講した学生に対し、各大学に於いて正課科目として単位認定をする場合、大学と本財団の間でインターンシップ・プログラムの運営に関する委託契約を新たに締結する運用を開始した。

今後、上記の結果などを踏まえながら、意欲ある学生がプログラムに参加でき、これまでどおり高い満足度を維持するため、産官学地域における連携をより密にするとともに、本プログラムが受講生だけでなく、受入れ先にとってもより意義のある取組となるよう、プログラムを推進する。

出典

¹⁾文部科学省HP 大学等におけるインターンシップ実施状況調査（承認統計）

http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/intern/1260927.htm

第2章 2014年度インターンシップ・プログラムの実施内容

I. プログラムの概要

1. コースの設定

①プロGRESSコース

受入れ企業・団体が提示したテーマを実現するプロジェクト型として実施する。インターンシップ期間は、6月から11月の約5か月間で、年1回の実施である。

②ビジネス・パブリックコース

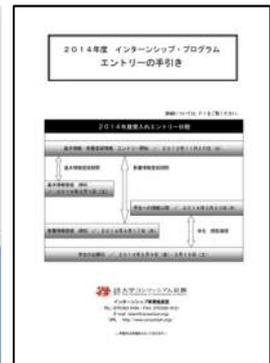
企業・行政機関・非営利組織（NPO・NGO等）において就業体験を行う実践型として実施する。インターンシップ期間は、8月中旬～9月中旬の間に10日以上で設定され、年1回の実施である。

2. 受入れ企業・団体の登録

2013年度インターンシップ・プログラムの登録企業・団体を中心に、新規企業の開拓にも注力し、336の企業・団体に対し2014年度のインターンシップ・プログラムへの登録を依頼した。

受入れ企業・団体の登録を依頼する際には、教育プログラムとして実施するインターンシップの理解を得るため、案内パンフレットと「エントリーの手引き」を活用し、実習日数の確保や実習内容の設定について説明を行った。

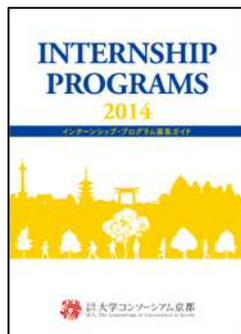
このような依頼に対し、ビジネス・パブリックコースに236、プロGRESSコースに11、合計247の企業・団体からの登録を得た。このうち、新規に登録のあった企業・団体数は、ビジネス・パブリックコースに21、プロGRESSコースに3の合計24であった。



3. 学生の募集

学生募集にあたっては、本財団に加盟している大学のうち36大学42カ所のキャンパス、そして非加盟大学では要望により9大学11カ所のキャンパスにて、学生へ募集ガイドを配布した。同時に、9大学16カ所のキャンパスで開催されるインターンシップ説明会においてプレゼンテーションし、広報活動を行った。

また、本財団所在地であるキャンパスプラザ京都でも説明会を実施し、学生へ教育プログラムとしてのインターンシップに参加する意義について丁寧に説明を行い、参加を呼びかけた。



- インターンシップ・プログラム事前説明会
4月12日(土) 18:00~19:30 参加学生179名



- プログレスコース説明会・相談会
4月17日(木) 18:15~21:00 参加学生45名



4. 出願受けと面接

本財団の加盟大学の正規学生および大学院生であれば、学部・学年を問わず出願を可能とした。また、加盟大学の学生が優先されることを出願者が了承した場合に限り、非加盟大学の学生の出願も受け付けた。

出願手続きは、Webエントリーをした者から出願票を受け、面接を実施する方法をとった。出願者全員に対して行う面接では、実習を最後までやり遂げ、さらに向上心があるかを確認する質問項目を設け、出願者の志望動機を確認した。

- Webエントリー期間
4月25日(金) ~5月8日(木)

- 出願・面接日(会場:キャンパスプラザ京都)
5月9日(金) 16:00~18:30
5月10日(土) 10:00~15:00



5. 選考・マッチング

出願者に対する選考は、受入れ先が選考を行う場合と、本財団が選考を行う場合の2種類を設定した。選考方法は、受入れ先企業・団体のエントリー時点で決定し、学生へ情報開示した。本財団が選考を行う場合には、受入れ先が提示する受入れ要件を満たしているか、また志望理由と実習内容が適合しているかを検討し受講許可を与えた。なお、2014年度にエントリーした受入れ先企業・団体247団体のうち、受入れ先による選考を選択した受入れ先は75団体、本財団による選考を選択した受入れ先は172団体であった。

ただし、プログレスコースにエントリーする受入れ先企業・団体には、プロジェクト内容の理解を確認するため、全て受入れ先による選考である。

6. 受講手続

受講手続を6月6日(金)~6月7日(土)に実施し、受講料を徴収した。受講料は、ビジネス・パブリックコースで10,000円(加盟大学以外の学生は15,000円)、プログレスコースで15,000円(加盟大学以外の学生は20,000円)とし、保険料・施設利用料・その他講座運営にかかる諸費用に充てた。

II. プロGRESSコースの実施内容

1. 実施プロジェクト

今年度のPROGRESSコースにエントリーした11団体が提供する11のプロジェクトのうち、9プロジェクトが成立した。9プロジェクトの内容と受講生数は、資料5のとおりである。

2. 講義概要

(1) オリエンテーション

受講にあたっての注意点につき、事務連絡を行い実習日誌を配布したのち、プロジェクトメンバーの相互理解を深めることを目的としてプロジェクト毎にミーティングを行った。また、プロジェクト・マネジメントの基礎知識について学び、プロジェクト形成の過程で使用するワークシートの説明を行った。

(2) プロジェクトの導入

プロジェクトの導入にあたり、前年度の修了生(株式会社ナスカのプロジェクトに参加)から体験談を聞き、受入れ先の株式会社インテリジェンスオフィスから社会人講師として「これからプロジェクトの一員になる学生に伝えたいこと」というテーマでお話をいただいた。

また、ビジネスマナーの習得やコミュニケーション能力の向上を目的としたコミュニケーショントレーニングを実施した。



(3) プロジェクト形成

プロジェクト毎のテーマに応じた目標の設定を行い、目標に向けた体制を明確化し活動計画表を完成させた。

プロジェクト形成の終盤では、全受講生の合同による講義時間に活動計画の発表を行い、他者からの意見を得て、活動計画の完成度を上げる機会をもった。

(4) プロジェクトの実施

主に受講生の夏期休暇を利用して、活動場所を受入れ先に移しプロジェクトを実行した。

(5) フォローアップ

プロジェクトの評価方法について学び、成果報告に向けた資料の作成と専門講師によるプレゼンテーション講習を受け最終成果報告会への準備を行った。また、プログラム受講を通じた自己の変化を知る自己評価の時間を設け、今後のキャリア形成に向けた振り返りの機会を設けた。



(6) プロジェクト報告・評価

最終受講日には、成果報告会を実施し、約5か月間の活動報告とその成果について発表し、プロジェクト報告書を作成した。



Ⅲ. ビジネス・パブリックコースの実施内容

1. 実習受入れについて

今年度は、ビジネスコースで147団体に281名、パブリックコースで41団体に91名の学生に対し受講許可を決定した。出願者と受講者数については、資料1のとおりである。



2. 講義概要

(1) 事前学習

実習に向けた目標と仮説設定を業界研究を通して言語化することをねらいとして、1クラス11名～18名で編成されたゼミ形式で実施した。業界研究については、修了生38名と受入れ先企業・団体のご担当者12名の方のご協力を得て実施し、社会が求めるスキルや心構えなどについても学習する機会とした。



(2) ビジネス研修

ビジネスマナーの基本とコミュニケーション能力の向上及びロジカルシンキングの獲得を目指し、専門講師による研修を実施した。ビジネスマナーに不安を感じる受講生が多いことから、ロールプレイングで使用する名刺を受講生へ配布した。



(3) リスクマネジメント講習

社会で起こりうるトラブルやリスクについて学び、「報連相」の重要性について理解を深めることをねらいとして実施した。

(4) 事後学習

実習で経験したことを他者に伝え、他者が経験から学んだことを聞くことにより、事前学習で設定した目標の達成や仮説の検証を行い、その後の学習意欲の喚起につながる目標を明確化するねらいをもって実施した。



Ⅳ. プログラムを運用するにあたって

1. 受入れ先企業・団体との連携

プログラムの質的向上を目的として、受入れ先企業・団体との連携を重視し、プログラム実施前、実施中、実施後において意見交換を行う機会を設けている。

ビジネス・パブリックコースにおいては、出願受付の前に説明会を実施し学生を受入れる際の重要事項を伝達した。また、学生が実習を行っている間に、コーディネーターが受入れ先を訪問し、実習状況の確認を行った。そして、プログラム終了後には、全コースの受入れ先ご担当者・大学ご担当者・コーディネーターが集まり、今年度のプログラムについて振り返り、意見交換を行った。

プログレスコースにおいては、出願受付の前に説明会を実施し学生を受入れる際の重要事項を伝達し、プログラム実施中にはコーディネーターを含む会議を開催しプロジェクトの進め方について意見交換を行った。

●ビジネス・パブリックコース受入れ先ご担当者説明会

(日 時) 4月16日(水) 15:30~17:30

(会 場) キャンパスプラザ京都

(参加数) 受入れ先ご担当者41名

(内 容) 2014年度インターンシップ・プログラムについて

受入れ先ご担当者および2013年度修了生による報告

受入れ先ご担当者：草津市役所 草津未来研究所 ご担当者

2013年度修了生：京都府立大学 3回生

(ビジネスコース：株式会社くろちく倭美坐にて実習)

●プログレスコース受入れ先ご担当者説明会

(日 時) 4月17日(木) 17:30~18:00

(会 場) キャンパスプラザ京都

(参加数) 受入れ先ご担当者11名

(内 容) 2014年度のプログラム概要及び年間スケジュールについて

●受入れ先ご担当者・大学ご担当者意見交換会

(日 時) 12月4日(木) 15:00~16:20(全体会)

16:30~17:30(交流会)

(会 場) キャンパスプラザ京都

(参加数) 受入れ先ご担当者31名 大学ご担当者15名

(内 容) 2014年度インターンシップ・プログラム総括に向けて

受入れ先ご担当者および2014年度修了生による事例報告

受入れ先ご担当者：株式会社グルメ杵屋 ご担当者

2014年度修了生：京都大学3回生

(プログレスコース：特定非営利活動法人子ども自立の郷

ウォームアップスクールここらにて実習)

2015年度インターンシップ事業実施スケジュール

2. 大学・短期大学との連携

学生の所属大学と連携し、プログラムの広報、意見交換、情報の共有化を行った。プログラムの広報としては、大学・短期大学の希望に応じ学生対象のプログラム説明を行った。また、前年度の3月には大学担当者の連絡会議を開催し2014年度プログラムの実施概要を説明した。そして、プログラム終了後には、受入れ先からの実習状況の評価や実習生の出席状況・レポート等に基づき、コーディネーターが採点した成績を各大学に提出し、受入れ先ご担当者も含む意見交換会では次年度に向けた意見が出された。

3. インターンシップ研究会におけるプログラムの検討

本財団中期計画である「第4ステージプラン」に基づいた教務企画の検討を行い、以下の議題について検討を行った。

<教育プログラムとしての質的向上に向けた課題>

- コーディネーターの資格基準について
- インターンシップ・プログラムの実施に関する基本方針の制定
- インターンシップ受入れについての規約について
- インターンシップ実習生派遣に関する協定書の見直し
- 2015年度講義計画の策定
- ビジネスコース・パブリックコースの事後学習日に実施する「実習経験交流会」について

<プログラムの特色を検証し広報する取り組み>

- インターンシップ修了生に関するアンケート調査について

インターンシップ研究会構成員

委員長	古川 秀夫	龍谷大学 国際文化学部 教授
副委員長	多田 実	同志社大学 政策学部 教授
委員	三浦 潔	京都文教大学 総合社会学部 教授
	渡邊 博己	京都学園大学 法学部 教授
	舟橋 和夫	龍谷大学 社会学部 教授
	筑田 一毅	大谷大学・大谷大学短期大学部 学生支援部キャリアセンター
	広瀬 友子	京都学園大学 キャリアサポートセンター
	久保 歩	立命館大学 共通教育課 インターンシップオフィス
	森野 裕之	京都文教大学 就職部就職進路課

4. リスクマネジメント

①保険

当財団では、プログラム開始から終了までの期間（実習期間を含む）、全コースの受講生を対象として保険に加入し、不慮の事故やけが等に対応している。

2014年度は、保険金請求に該当する事例はなかった。

【普通傷害保険】

死亡・後遺障害 500万円／入院保険金日額 4,500円／通院保険金日額 3,000円

【個人賠償保険】

てん補限度額 1億円（自己負担額 0円）

②リスクマネジメント講習

ビジネス・パブリックコースにおいては、事前学習にてリスクマネジメント講習を設定し、想定される事例のケーススタディを行った。また、プログレスコースにおいては、初日のオリエンテーションにおいて、「報告・連絡・相談」の重要性とともに、プログラム中に起こりうるリスクへの対応法を受講生に伝えた。

③三者協定書の締結

実習が円滑に進められるよう、全受入れ企業・団体と受講生の所属大学、当財団の三者間で協定を締結した。

第3章 受入れ企業・団体のアンケート結果から

今年度のインターンシップ・プログラムに対する満足度は、「非常に満足」「かなり満足」を合わせた数字から算出すると62%であった。また、次年度の受入れ予定については、68%の受入れ先が「受入れられる予定である」と回答されており、ご負担が多いにもかかわらず、多数の受入れ先から支持を得たと考えられる。しかし、プログラム全体に対する厳しいご意見もあり、改善点として認識している。

なお、アンケートの質問項目は、コースの内容に応じた項目を設計したため、コースにより異なる項目がある。

I. アンケートの実施要項

1. アンケート実施日

ビジネスコース・パブリックコース 2014年9月中旬～下旬(実習終了後)
プログレスコース 2014年11月初旬～中旬(プロジェクト終了後)

2. 回答数

	企業・団体数	回答数	回答率
ビジネスコース	143	82	57.3%
パブリックコース	40	24	60.0%
プログレスコース	9	9	100.0%
総計	192	115	59.9%

II. アンケートの集計結果

1. 受入れについて

●ご準備いただいた実習内容に対し、インターンシップ生のマッチングについてはいかがでしたか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①満足している	69	84.1%	19	79.2%
②どちらでもない	10	12.2%	5	20.8%
③不満がある	2	2.4%	0	0.0%
無回答	1	1.2%	0	0.0%
総計	82	100.0%	24	100.0%

【①の理由】

インターンシップ生に明確な目的意識があったため
業界に対する事前学習知識がしっかりとあったから
積極的に取り組める学生だったため
知財に関する基礎知識を備えており実務を任せやすかったため
当社に興味のある学生が来てくれた
本人の希望通りの部署に配属できた
本人の大学での学びと合致していたため

【③の理由】

仕事に対する意欲が感じられませんでした
1人直前で辞退になった学生を選んでいることには大いに不満がある

●実習内容は主にどのようなものを実施されましたか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①社員の基幹的な業務の一部を体験	41	50.0%	7	29.2%	3	33.3%
②社員の補助的な業務の一部を体験	24	29.3%	12	50.0%	1	11.1%
③社員の通常業務以外の業務	4	4.9%	1	4.2%	2	22.2%
④見学を中心に実施	2	2.4%	0	0.0%	0	0.0%
⑤新任者研修に準ずる座学を中心に実施	6	7.3%	0	0.0%	0	0.0%
⑥その他	4	4.9%	4	16.7%	3	33.3%
無回答	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
総計	82	100.0%	24	100.0%	9	100.0%

【⑥その他の記述欄】

ボランティアメンバーの行っている中心的な活動を体験
 営業マンとの同行営業経験、納入事例見学、社内業務体験、インターンシップの成果発表
 会社の経営者としての全業務
 学生募集活動の一環としての新企画の立案
 業務内容に準じた課題制作プログラム
 実際の取引先へ訪問し代表の方との対話
 本人の希望する業務
 演習校での演習(プロGRESS)
 社員同様の業務の全部(プロGRESS)

●支給された各種手当の総額をお答えください。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
0円	63	76.8%	23	95.8%	7	77.8%
1円～4,999円	7	8.5%	0	0.0%	0	0.0%
5,000円～9,999円	3	3.7%	0	0.0%	0	0.0%
10,000円～19,999円	5	6.1%	0	0.0%	1	11.1%
20,000円以上	2	2.4%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	2.4%	1	4.2%	1	11.1%
総計	82	100.0%	24	100.0%	9	100.0%

●留学生の受入れについてはどのようにお考えですか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①受入れは可能である	15	18.3%	5	20.8%	0	0.0%
②受入れは不可能である	33	40.2%	4	16.7%	1	11.1%
③条件付きで受入れは可能である	33	40.2%	14	58.3%	3	33.3%
無回答	1	1.2%	1	4.2%	5	55.6%
総計	82	100.0%	24	100.0%	9	100.0%

●障がいのある学生の受入れについてはどのようにお考えですか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①受入れは可能である	10	12.2%	7	29.2%	0	0.0%
②受入れは不可能である	47	57.3%	7	29.2%	0	0.0%
③条件付きで受入れは可能である	22	26.8%	8	33.3%	4	44.4%
無回答	3	3.7%	2	8.3%	5	55.6%
総計	82	100.0%	24	100.0%	9	100.0%

●次年度のインターンシップ受入れについてお伺いします。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①受入れる予定である	58	70.7%	17	70.8%	4	44.4%
②受入れない	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
③未定	22	26.8%	5	20.8%	5	55.6%
無回答	2	2.4%	1	4.2%	0	0.0%
総計	82	100.0%	24	100.0%	9	100.0%

2. 受講生について

●参加した学生の実習態度はいかがでしたか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①真剣に取り組んだ	74	90.2%	20	83.3%	8	88.9%
②ふつう	7	8.5%	3	12.5%	1	11.1%
③真剣さを感じられなかった	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
無回答	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
総計	82	100.0%	24	100.0%	9	100.0%

●学生自身に成長があったと思われませんか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①成長があったと感じる	73	89.0%	21	87.5%	7	77.8%
②どちらともいえない	8	9.8%	2	8.3%	1	11.1%
③成長があったと思えない	0	0.0%	1	4.2%	1	11.1%
無回答	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
総計	82	100.0%	24	100.0%	9	100.0%

●前問で「①成長があったと感じる」と答えた方は、どのような成長がありましたか。(複数回答)

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①学習意欲の喚起	31	37.8%	5	20.8%	0	0.0%
②自主性・独創性の育成	26	31.7%	5	20.8%	3	33.3%
③キャリア形成	11	13.4%	6	25.0%	2	22.2%
④問題解決能力の向上	11	13.4%	4	16.7%	3	33.3%
⑤多様な価値観の認識	38	46.3%	11	45.8%	5	55.6%
⑥コミュニケーション能力の向上	32	39.0%	7	29.2%	3	33.3%
⑦プレゼンテーション能力の向上	16	19.5%	4	16.7%	1	11.1%
⑧社会が求める能力やスキルの向上	16	19.5%	6	25.0%	1	11.1%
⑨その他	5	6.1%	3	12.5%	0	0.0%

【⑨その他の記述欄】

インターン開始時は発言に消極的であったが、1ヶ月の実習を通して社会での経験をしたことによって、
 自発的に発言があり、前向きな姿勢が見られた
 チームで働く力、協調性、コミュニケーション能力
 リーダーシップ
 英会話の語学力が向上したようである
 個人の考え方
 分担制作や変更修正を見越した制作等授業とは異なる版下制作の経験で視野拡大
 法人活動への理解

3. インターンシップ・プログラムについて

●大学コンソーシアム京都が行うインターンシップに参加された一番の理由は何ですか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①コンソーシアム京都の加盟大学との強化	10	12.2%	0	0.0%
②指導することにより社員の育成になるから	14	17.1%	7	29.2%
③学生への自社PRのため	7	8.5%	3	12.5%
④採用活動につなげたいから	8	9.8%	2	8.3%
⑤学生から自社に対するアイデアを得るため	5	6.1%	3	12.5%
⑥社会貢献	31	37.8%	5	20.8%
⑦その他	5	6.1%	4	16.7%
無回答	2	2.4%	0	0.0%
総計	82	100.0%	24	100.0%

【⑦その他の記述欄】

学生とのつながりをつくるため

学生にとっても社員にとっても大いに学ぶことがあるから

学生の社会に対する視野拡大のため

学生の就業意識の向上に寄与し、職員の指導能力向上にもつながるため

実習生の価値観と触れることにより、組織の活性化が図れるから

公務員になりたいと漠然と考えている実習生の思いと現実のミスマッチの解消が図れるから

若者支援というミッションが一致しているため

職場活性化

●学生を受入れて、一番のメリットは何ですか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①大学との連携強化	8	9.8%	0	0.0%
②職場活性化	28	34.1%	13	54.2%
③指導する社員の成長	10	12.2%	1	4.2%
④自社のPR・広報・宣伝	4	4.9%	1	4.2%
⑤優秀な学生との出会い	13	15.9%	1	4.2%
⑥新たな企画開発	5	6.1%	2	8.3%
⑦社会貢献	11	13.4%	4	16.7%
⑧その他	1	1.2%	1	4.2%
無回答	2	2.4%	1	4.2%
総計	82	100.0%	24	100.0%

●学生を受入れて、一番のデメリットは何ですか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①指導に時間・コストがかかる	36	43.9%	15	62.5%
②事前の準備に時間・コストがかかる	15	18.3%	2	8.3%
③安全への配慮に手間がかかる	6	7.3%	1	4.2%
④情報漏えいが不安である	9	11.0%	3	12.5%
⑤その他	12	14.6%	2	8.3%
無回答	4	4.9%	1	4.2%
総計	82	100.0%	24	100.0%

【⑤その他の記述欄】

学生側にとっては忙しい時期というのもあり、ゆっくりマンツーマンで教えられない状況が多々あるところ

指導に手をとられるがデメリットとするほどではない

施設条件等の制約がありグループや複数で受け入れる方が効果的であっても実現できない

社内調整

受入れ時期がどちらかという閑散期にある

日誌の記入

日替わりでアテンドする担当者が代わるのでスケジューリングに苦労する

●過去に受け入れた学生が、貴社・貴団体の採用試験に参加されたことはありますか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①ある	29	35.4%	5	20.8%
②ない	35	42.7%	10	41.7%
③新卒採用を行っていない	6	7.3%	1	4.2%
④わからない	9	11.0%	5	20.8%
無回答	3	3.7%	3	12.5%
総計	82	100.0%	24	100.0%

●前問で「①ある」と答えた方にお伺いします。

過去に受け入れた学生を、貴社・貴団体において採用されたことがありますか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①ある	17	58.6%	3	60.0%
②ない	1	3.4%	1	20.0%
③新卒採用を行っていない	0	0.0%	1	20.0%
④採用には至らなかったが応募していた	11	37.9%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
総計	29	100.0%	5	100.0%

【その他記述】 コンソーシアム以外で採用したことがある。

●2014年度のインターンシップ・プログラム全体についてどの程度満足されていますか。

	ビジネス		パブリック		プログレス	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①非常に満足	17	20.7%	5	20.8%	0	0.0%
②かなり満足	37	45.1%	11	45.8%	2	22.2%
③やや満足	24	29.3%	6	25.0%	6	66.7%
④やや不満	2	2.4%	1	4.2%	1	11.1%
⑤かなり不満	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
⑥非常に不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	1.2%	1	4.2%	0	0.0%
総計	82	100.0%	24	100.0%	9	100.0%

Ⅲ. ご意見・ご要望について（自由記述欄より抜粋）

本項目については、基本的に原文のまま掲載する。ただし、誤字・脱字および個人名・企業名が特定される箇所の記述については、当該部分を削除・加筆した。

1. ビジネスコース・パブリックコース

(1) メリットや成果について

○一昨年まで事前授業に受入れ企業として出席させていただきゼミの実習の学生さん(広告・出版・印刷・デザイン等の企業)に印刷の現状をお話したりご質問を受けたりして、学生さんの印刷に対するイメージや疑問点など直接伺えて刺激になりました。またお願いします。【出版・印刷・広告】

○学習意欲、目的意識の高い学生の派遣をお願いします。就職志望する学生であればなお良いと思います。【教育】

○頑張り屋の学生で助かりました【卸売・小売・販売】

○今年が初めての取り組みであったため、弊社も勉強をさせていただきました。今後とも何卒よろしくお願ひします。【卸売・小売・販売】

○今年は参加してくれた学生全員が、意欲的に業務に取り組んでくれ、指導していた私自身多くの学びを得ることができました。【情報・通信・マスコミ】

○今年も優秀な学生さんが実習に来ていただいたのでとても満足です。【サービス業・その他】

○デメリットについて、指導に時間はかかるが、指導することにより社員一人一人が初心に戻り、自分自身を確認することができるので、とても重要だと思っています。【卸売・小売・販売】

○事業としてコンソーシアムとつながりを持たせていただいているのは必要であると感じている。学生の質も一定以上の意識・意欲を持たせ勉強もしてきていると感じられる。この素晴らしい取り組みを来年度も是非続けたい。【官公庁】

(2) 学生の成長や成果について

○実習生の意欲や実習中に明らかになった自身の課題についてもそれを乗り越えようと動き出している様子を頼もしく見えています。今後も学生達の成長に関わっていきたく思います。プログラムとしても、事前学習を通して、学生たちの知識、座学での学びを抑えたいうえでの実践なので、本人達も安定して取り組めているように思います。他のインターンシッププログラムのモデルとなるプログラムだと思います。【非営利組織<NPO・NGO>】

○非常に優秀で意欲のある学生さんをご紹介いただきありがとうございます。他の学生さんと同時に受け入れさせていただきましたが、コンソーシアムの学生さんは事前学習の成果が物怖じせず堂々とされている印象を受けました。【出版・印刷・広告】

(3) プログラム全体に対して

○インターンシップを経験した人が、その後の就職活動にどうかしたかなどのレポートを作成してほしい。また、インターンシップ生が企業に対しての要望なども聞かしてほしい。【卸売・小売・販売】

○うちに来る前の面接やレポート等があると聞き、大変そうだった。【非営利組織<NPO・NGO>】

○貴団体と企業とのもっと密接なコミュニケーションが必要と考えます。【卸売・小売・販売】

○パブリックコースを希望する学生の動向は如何でしょうか。特に社会貢献活動を実施しているNPO法人の気持はどのような感じですか？今年度も応募者が減って受入れ実施がなくなるのではと思いました。また、我々のようなNPOへの人気等がわかる範囲で知りたいです。そして、外国人留学生で希望者があれば積極的に受け入れたいと思います。【非営利組織<NPO・NGO>】

○次年度から就職活動の選考時期が実習期間と重なりそうですが、「教育プログラム」であることの信念を貫いて実習先を開拓いただければと思います。【教育】

○最近では意欲のない学生が増えてきていると感じます。そのような状況の中、企業とのマッチング等は大変かと思いますが、これからも優秀な学生を期待しています。【製造】

○事前指導でどのようなこと学んだ上で実習に臨んでいるのかを具体的に把握しておけると、実習中にその実践がしやすいかと思えます(例:ビジネスマナーとして何を学んだのか)【教育】

○主体的な社会人を育成するため、この事業の発展を期待しています。【教育】

○受入時期が閑散期になり、手伝っていただく仕事の量質があまり良いものを提供できないので、ご相談させていただくことは可能でしょうか【運輸・流通】

○就職活動に向けて、学生にとっては民間企業や官公庁で仕事を実体験できる良い経験になります。どのようなことを心掛けて実習するのかを事前に聞かせてもらいたいです。【官公庁】

○可能であれば、ビジネスに準じたカバンで実習に行くようにしていただければ幸いです。また、名刺入れの準備もあれば幸いです。

インターンシップ業務をシステム使用して運用していくということは、考えておられますでしょうか。たとえば、実習日誌のやり取りをシステムですと、中間指導訪問等、コーディネーターの方とよりやり取りが出来ると思えます。【情報・通信・マスコミ】

○事前学習でインターン生がどのような経験を積んできているのかについては十分情報をもたないまま対応にあたってしまいました。幸い本人とのコミュニケーションをとることでそれについて埋め合わせることができましたが、可能な範囲でそれらに関しても理解して対応できるようになればより効果的だと思います。【教育】

○本年度も優秀な学生さんを送っていただきありがとうございます。また、次年度も日本文化を体験し何かを学びとろうと思う意欲的な学生さんを希望します【卸売・小売・販売】

○技術職(土木事務所・農業農村振興事務所など)や福祉職のインターンシップ受け入れについてもエントリーしていますので、専門職に該当する学生がいましたらお声掛けをお願いします。【官公庁】

○面接時期が5月と早く、他大学(6月中旬)や他のコンソーシアム(7月)とのずれが大きいので、可否判定に苦しみどころです。【サービス業・その他】

○毎年度複数名を異なる部署・期間で受け入れているため、中間指導を実施する場合は、なるべく早い段階での調整をお願いしたい。【教育】

○学生さんにとって、貴重な体験の場ですので今後とも何卒よろしく願いいたします。【建設・不動産】

2. プログレスコース

○インターン生の受入れは短期では学生さんも単なる社会見学となってしまう部分もあり、長期のプロgreスコースを選びました。双方に手ごたえある実習だったと思います。しかし、授業に社員用席が必要だったり、学生の夏季休暇が8月～9月であることから実習プロジェクトの企画実施時期の調整。準備期間の設定など初めて経験することも多く、1年間を見通した受け入れ態勢も整えておく必要性を感じました。(少し負担感が残りました。短期2週間だと割り切れるかもしれません)

○講義の内容が少し難しすぎるように思います。フレームや考え方の事例としてあげる際にJICAなどではなく学祭実行委員会やクラブやサークルの運営など、学生にとって身近なイメージしやすいもので伝えるほうがわかりやすいのではないのでしょうか。

○事務局の対応について「やや不満」としたのは、最初の企業プレゼンでインターネットの用意と事前に(数日前、前日の2回)いれていたが、用意されていなかった。また、打ち合わせなどで早退・欠席の連絡を入れていたこともあったが伝わってなかった。

○大変お世話になりました。当方にとっても貴重な機会となり大変感謝しております。ただし改善の余地は多々あると感じています。もっとも感じたのは受入れ先企業としての立ち位置です。インターンシップ・プログラムと銘打つのであれば、本来、プロジェクトマネジメントのあり方も含めて受け入れ企業側に任せたいのではないかと感じました。大学内でも受講可能なプロジェクトマネジメントの座学がセットとなり提出書類の書式等も定められている点には違和感を覚えました。学生側にも実社会とのギャップに戸惑いが生じるのではないのでしょうか。また、他のプロジェクトとの合同講義等についても何のためにやっているのかその効果はどこにあるのかといった点に疑問を感じました。いずれにせよ、インターンシップのあり方そのものを問う貴重な機会になったと確信しております。今後、改善等について十分協議を行いより充実した長期インターンシッププログラムが確立されることを切に望みます。

第4章 受講生のアンケート結果から

今年度のインターンシップ・プログラムに対する満足度は、「非常に満足」「かなり満足」を合わせると全体の60%であった。また、成長感については、90%の受講生が「成長があったと感じる」と回答した。

概して、受入れ先企業・団体における就業体験においては満足度も高く成長感にもつながり、体験以外の研修や講義の部分を含んでも、アクティブ・ラーニングによる効果を実感する受講生の意見が多く出された。

なお、アンケートの質問項目は、コースの内容に応じた項目を設計したため、コースにより異なる項目がある。

I. アンケートの実施要項

1. アンケート実施日

ビジネスコース・パブリックコース 2014年9月27日(事後学習日)
プログレスコース 2014年11月15日(最終講義日)

2. 回答数

	回答数
ビジネスコース	265
パブリックコース	85
プログレスコース	64
総計	414

II. アンケートの集計結果

1. 実習について

●あなたが実習をおこなった受入れ先へのマッチングはいかがでしたか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①大変満足	121	45.7%	40	47.1%
②満足	118	44.5%	39	45.9%
③どちらでもない	21	7.9%	5	5.9%
④不満	3	1.1%	1	1.2%
⑤とても不満	1	0.4%	0	0.0%
無回答	1	0.4%	0	0.0%
総計	265	100.0%	85	100.0%

●あなたが体験した実習内容は、主にどのようなものでしたか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①社員の基幹的な業務の一部を体験	100	37.7%	46	54.1%
②社員の補助的な業務の一部を体験	85	32.1%	31	36.5%
③社員の通常業務以外の業務	21	7.9%	3	3.5%
④見学を中心に実施	26	9.8%	3	3.5%
⑤新任者研修に準ずる座学を中心に実施	20	7.5%	0	0.0%
⑥その他	9	3.4%	2	2.4%
無回答	4	1.5%	0	0.0%
総計	265	100.0%	85	100.0%

【その他の記述内容】

アルバイトの方と同じ仕事内容でした
イベント・説明会・現場作業
キャンプで主に私たちが中心となって動いた
その会社の抱える課題を解決する案の企画

プレゼンテーションに向けてのグループワーク
 プレゼン作成
 企画案
 研究室における作業
 見学のみ
 講義、グループディスカッション
 災害時の業務
 実際に業務に準ずる課題を与えられました
 社員さんにお話を伺う
 農作業・ヒアリング・散策
 与えられた課題をする

●実習の実働日数は何日間でしたか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
10日未満	38	14.3%	5	5.9%
10日間	156	58.9%	23	27.1%
11～14日	33	12.5%	20	23.5%
15日間	12	4.5%	24	28.2%
16～30日間	25	9.4%	12	14.1%
無回答	1	0.4%	1	1.2%
総計	265	100.0%	85	100.0%

●実習の実働日数についてはいかがでしたか。

※ビジネスコース・パブリックコースを合わせて集計

	①長すぎる	②やや長い	③適当	④やや短い	⑤短すぎる	総計
10日未満	1	1	25	12	4	43
10日間	3	23	140	12	1	179
11～14日	1	11	37	4	0	53
15日間	1	18	16	1	0	36
16～30日間	5	18	11	3	0	37
無回答	0	0	2	0	0	2
総計	11	71	231	32	5	350

2. 受講生自身の変化について

●あなた自身に成長があったと思われませんか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①成長があったと感じる	240	90.6%	75	88.2%	59	92.2%
②どちらともいえない	25	9.4%	9	10.6%	4	6.3%
③成長があったと思えない	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
総計	265	100.0%	85	100.0%	64	100.0%

●前問で「成長があったと感じる」と答えた方は、どのような成長がありましたか。(複数回答)

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①学習意欲の喚起	99	37.4%	39	45.9%	21	32.8%
②自主性・独創性の育成	71	26.8%	22	25.9%	20	31.3%
③キャリア形成	46	17.4%	19	22.4%	9	14.1%
④問題解決能力の向上	31	11.7%	11	12.9%	17	26.6%
⑤多様な価値観の認識	135	50.9%	37	43.5%	40	62.5%
⑥コミュニケーション能力の向上	91	34.3%	38	44.7%	37	57.8%
⑦プレゼンテーション能力の向上	52	19.6%	10	11.8%	11	17.2%
⑧社会が求める能力やスキルの向上	61	23.0%	16	18.8%	20	31.3%
⑨その他	12	4.5%	2	2.4%	4	6.3%

【その他の記述内容】

価値観の確認、発見
 自分を知れた
 積極性、スケジュール管理
 仕事のイメージ
 社会との今後も続いていく繋がり
 自己の抱える課題について向き合うきっかけになりました
 働くことへの意欲が増進した
 自分の欠点への気づき
 語学力の向上
 アクシデントの経験によりメンタルが強くなった
 細かい事務作業の手際
 経済問題の理解
 就職する際の優先順位が変わった

●受入れ先への就職希望についてはいかがですか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①就職したい	60	22.6%	28	32.9%	20	31.3%
②やや就職したい	123	46.4%	38	44.7%	26	40.6%
③あまり就職したくない	62	23.4%	11	12.9%	7	10.9%
④就職したくない	20	7.5%	8	9.4%	9	14.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	2	3.1%
総計	265	100.0%	85	100.0%	64	100.0%

●受入れ先と同業種への就職希望についてはいかがですか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①就職したい	82	30.9%	38	44.7%	28	43.8%
②やや就職したい	130	49.1%	30	35.3%	22	34.4%
③あまり就職したくない	42	15.8%	12	14.1%	6	9.4%
④就職したくない	10	3.8%	5	5.9%	7	10.9%
無回答	1	0.4%	0	0.0%	1	1.6%
総計	265	100.0%	85	100.0%	64	100.0%

●就職することに対する意識の変化について

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①就職したいと強く思うようになった	131	49.4%	43	50.6%	36	56.3%
②就職したいと少し思うようになった	80	30.2%	16	18.8%	14	21.9%
③それほど変化はなかった	44	16.6%	22	25.9%	10	15.6%
④就職したくないと少し思うようになった	8	3.0%	4	4.7%	3	4.7%
⑤就職したくないと強く思うようになった	2	0.8%	0	0.0%	1	1.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	265	100.0%	85	100.0%	64	100.0%

●実習前と比較して、実習した受入れ先の業種・職種のイメージはどうなりましたか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①良くなった	185	69.8%	72	84.7%	47	73.4%
②変わらない	68	25.7%	10	11.8%	15	23.4%
③悪くなった	11	4.2%	2	2.4%	2	3.1%
無回答	1	0.4%	1	1.2%	0	0.0%
総計	265	100.0%	85	100.0%	64	100%

●インターンシップ実習で何を得られましたか。

1) 働くということを実感できた

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	2	0.8%	1	1.2%	0	0.0%
②あまり思わない	20	7.5%	6	7.1%	5	7.8%
③どちらでもない	20	7.5%	10	11.8%	6	9.4%
④思う	132	49.8%	41	48.2%	25	39.1%
⑤とてもそう思う	91	34.3%	27	31.8%	27	42.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
総計	265	100.0%	85	100.0%	64	100.0%

2) 実習先について知ることができた

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	3	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
②あまり思わない	1	0.4%	0	0.0%	1	1.6%
③どちらでもない	7	2.6%	0	0.0%	2	3.1%
④思う	111	41.9%	33	38.8%	30	46.9%
⑤とてもそう思う	143	54.0%	52	61.2%	31	48.4%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	265	100.0%	85	100.0%	64	100.0%

3) 自分のスキルが向上した

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	4	1.5%	0	0.0%	0	0.0%
②あまり思わない	12	4.5%	3	3.5%	1	1.6%
③どちらでもない	76	28.7%	25	29.4%	9	14.1%
④思う	139	52.5%	47	55.3%	41	64.1%
⑤とてもそう思う	34	12.8%	10	11.8%	13	20.3%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	265	100.0%	85	100.0%	64	100.0%

4) 自分の専門知識が向上した

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	8	3.0%	2	2.4%	1	1.6%
②あまり思わない	25	9.4%	7	8.2%	4	6.3%
③どちらでもない	67	25.3%	23	27.1%	15	23.4%
④思う	125	47.2%	40	47.1%	31	48.4%
⑤とてもそう思う	40	15.1%	12	14.1%	12	18.8%
無回答	0	0.0%	1	1.2%	1	1.6%
総計	265	100.0%	85	100.0%	64	100.0%

5) 自分の力試しが出来た

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	7	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
②あまり思わない	26	9.8%	6	7.1%	2	3.1%
③どちらでもない	58	21.9%	8	9.4%	9	14.1%
④思う	121	45.7%	54	63.5%	34	53.1%
⑤とてもそう思う	52	19.6%	17	20.0%	19	29.7%
無回答	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
総計	265	100.0%	85	100.0%	64	100.0%

6) 卒業までの目標設定ができた

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	7	2.6%	1	1.2%	1	1.6%
②あまり思わない	20	7.5%	6	7.1%	3	4.7%
③どちらでもない	57	21.5%	14	16.5%	18	28.1%
④思う	134	50.6%	43	50.6%	24	37.5%
⑤とてもそう思う	47	17.7%	21	24.7%	18	28.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	265	100.0%	85	100.0%	64	100.0%

7) 実習先に貢献できた

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	14	5.3%	2	2.4%	3	4.7%
②あまり思わない	47	17.7%	8	9.4%	12	18.8%
③どちらでもない	94	35.5%	27	31.8%	21	32.8%
④思う	97	36.6%	41	48.2%	25	39.1%
⑤とてもそう思う	13	4.9%	7	8.2%	2	3.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
総計	265	100.0%	85	100.0%	64	100.0%

8) 他大学の学生・教員とのネットワークができた

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	9	3.4%	4	4.7%	0	0.0%
②あまり思わない	18	6.8%	4	4.7%	4	6.3%
③どちらでもない	42	15.8%	13	15.3%	6	9.4%
④思う	129	48.7%	44	51.8%	29	45.3%
⑤とてもそう思う	67	25.3%	20	23.5%	25	39.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	265	100.0%	85	100.0%	64	100.0%

● 実習を終えた今の自分が社会に出る際に不安だと思うことは何ですか。

1) ビジネスマナーや話し方

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①不安だ	54	20.4%	17	20.0%	9	14.1%
②やや不安だ	105	39.6%	41	48.2%	19	29.7%
③どちらでもない	47	17.7%	10	11.8%	16	25.0%
④あまり不安ではない	57	21.5%	16	18.8%	17	26.6%
⑤不安でない	2	0.8%	1	1.2%	3	4.7%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	265	100.0%	85	100.0%	64	100.0%

2) 職場の人との人間関係

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①不安だ	40	15.1%	10	11.8%	3	4.7%
②やや不安だ	90	34.0%	28	32.9%	26	40.6%
③どちらでもない	44	16.6%	15	17.6%	10	15.6%
④あまり不安ではない	73	27.5%	26	30.6%	20	31.3%
⑤不安でない	18	6.8%	6	7.1%	5	7.8%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	265	100.0%	85	100.0%	64	100.0%

3) スキルや専門知識

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①不安だ	49	18.5%	13	15.3%	12	18.8%
②やや不安だ	124	46.8%	41	48.2%	27	42.2%
③どちらでもない	54	20.4%	15	17.6%	15	23.4%
④あまり不安ではない	34	12.8%	15	17.6%	9	14.1%
⑤不安でない	4	1.5%	1	1.2%	1	1.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	265	100.0%	85	100.0%	64	100.0%

4) 体調管理

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①不安だ	22	8.3%	11	12.9%	9	14.1%
②やや不安だ	66	24.9%	12	14.1%	20	31.3%
③どちらでもない	54	20.4%	24	28.2%	9	14.1%
④あまり不安ではない	63	23.8%	21	24.7%	13	20.3%
⑤不安でない	59	22.3%	17	20.0%	13	20.3%
無回答	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
総計	265	100.0%	85	100.0%	64	100.0%

3. インターンシップ・プログラムについて

●インターンシップ・プログラム全体についてどの程度満足していますか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①非常に不満	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
②かなり不満	1	0.4%	1	1.2%	0	0.0%
③やや不満	14	5.3%	3	3.5%	2	3.1%
④やや満足	103	38.9%	27	31.8%	18	28.1%
⑤かなり満足	99	37.4%	34	40.0%	30	46.9%
⑥非常に満足	47	17.7%	20	23.5%	14	21.9%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	265	100.0%	85	100.0%	64	100.0%

Ⅲ. 意見・感想について（自由記述欄より抜粋）

本項目については、基本的に原文のまま掲載する。ただし、誤字・脱字および個人名・企業名が特定される箇所の記述については、当該部分を削除・加筆した。

1. ビジネスコース・パブリックコース

（1）プログラム全体について

- 事前事後学習や先生によるフォローなど、インターンシッププログラムとして非常に充実した内容でした。
- インターンシップに参加したことで、実習先の仕事に対するイメージが大きく変わりました。事前学習・事後学習で目標や参加意義を何度も確認することでインターンシップの実習がとても充実した内容になりました。
- インターンシップは、「自分が社会に出てはたして働けるのか」という疑問に正面から答えてもらえる機会かなと思います。若者の失業が表面化している現在においては、社会へ出ることへの自信を得る機会や社会を深く知る機会は決して無駄ではないように思います。
- 3回生の夏休みにとても良い経験となり良かったです。
- インターンシップで新たに気づけたことがあり、将来について考える一歩を踏み出せました。この経験を生かしてこれから先頑張っていこうと思います。
- 参加しないと味わうことのできない貴重な体験をすることができました。今後の就職活動に生かすことが出来そうです。
- 今回インターンシップをして社会人と学生の考え方の違いを感じました。大学生の質問は内容の事であり、社会人の質問は内容の過程だと知りました。
- なかなかできる経験ではないので、とても良い体験ができたように思う。他の学校の学生と学習を共にすることで刺激をもらうことができた。
- ゼミで10人、実習先で33人の友達ができたと。実習を通じて自分を知れたこと（自信をもてること、足りないこと）が大きかったです。
- インターンシップに参加することにより、社会マナーを学ぶことができました。「働く」ということもわかったので、良い体験をすることができました。
- インターンシップに参加する前に事前レポートの作成をすることで、基礎知識を頭に入れた状態で挑めたので、実習内容がすんなりと頭に入り、さまざまな事を吸収しやすかったように思います。事後レポートを作成し、実習内容をしっかりと復習したいです。
- インターンシップに参加することで残りの大学生活を充実させようと思いました。
- 受入れ先の職員の方々、コーディネーターの先生にも恵まれとても実りのあるインターンシップとなりました。
- 普段の大学生活では、得ることのできないような経験や刺激を体験できてためになりました。
- 大学生活で一番充実しました。得たもの気づきを見つけることもできました。事前学習事後学習の内容も充実していたので、今後につながると感じました。コーディネーターの人間性にひかれ人として尊敬できる方に出会えてよかったです。
- 事前学習をしていただけるというのは非常にありがたいことだと思いました。また、他のインターンシップ生と横のつながりを築けるというのもコンソーシアムならではの貴重な財産だと考えます。コンソーシアムのインターンシップをしていると友人に伝えると「何それ？」と反応されることが多くありました。もっと宣伝に力を入れるべきだと思います。
- インターンシップに参加することで少しでも働くことについて意識することができたんじゃないかと思います。
- インターンシップ・プログラムを通じて、さまざまな事を学ぶことができ、自分が成長する機会になりました。

○今回インターンシップに参加したことにより、働くことへの意欲はものすごく高まりました。また、一番の目的であった「場の雰囲気を知る」ことが出来て良かったです。良い機会をありがとうございました。ビジネスマナー講座も電話対応の勉強も良かったです。今後使える知識が多かったです。

○とてもいい経験になりました。

○インターンシップに参加することで、仕事のあり方などを知ることができた。

○インターンシップで交友関係が広がり普通なら会うことのなかった人たちに恵まれ良い経験になりました。

○無事楽しく終えることが出来ました。このようなプログラムを組んでいただいた皆様に心からお礼申し上げます。

○私は4回生ということで、周囲の学生よりも年上でした。しかし、しっかりとした態度で自分の意見を言うことができる人たちがばかりで気が引き締まりました。皆さんの意識が高い。

○この夏休みコンソーシアム京都でインターンシップに参加できたことにとっても感謝しています。事前学習から事後学習までの約3か月間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

○自身が将来についてどのようにかんがえているのかということ客観的に見直すことが出来た。

(2) 実習について

○自分で実際にその現場に行き行って働けたことで、仕事内容も把握することができた

○実践的な内容が多かったがその中で社会人になるうえでの必要な要素を感じさせていただいた。厳しいと感じることもあったが、今回のプログラムは自分にとって良い経験となった。

○実習内容を具体的にわかっていたら良かったと思いました。

○楽しく充実した6日間になった。

○インターンシップ実習を通じ、何事も目標を立てて計画的に行動に移すことを心がけようと思います。

○実習先は体力仕事で社員の方も男性が良かったとおっしゃっていらっしゃったので女性より男性が参加する方が良かったんだろうなと感じた。

○アットホームで良い職場だと思いました。

○インターンシップを通して初めは社会体験ということが大きな目的であったのが、それ以上の事、自分で意思表示する企画や責任感を持つこと、人とのつながりの大切さといったことを学び、すごく充実したインターンシップ期間を送ることができた。

○仕事の内容について学べる機会も大切であるが、仕事について根本から考え直す機会も大切であるとおもうので、後者を学べる実習先がもっと増えればよいと思った。

○10日間という短い期間でしたが、社会について学ぶことがたくさんあったので良かったです。礼儀やマナーを改めて学ぶことができました。

○アルバイトと同様の業務を一日中行う日があり、その点については疑問を感じた。しかし、私の行った業界での業務体験は非常に希少であり、受け入れていただいたことに感謝している。

○撮影所は長時間実習が続いたが、体調も気遣っていただきとても快適に過ごすことができた。

○企業と学生がイメージするインターンシップ像のギャップが大きすぎるのではないかと思った。

○実習期間をもっと考えてほしかったです。

○インターンシップを受け入れるならある程度のプログラムを組んで取り組んでくれる企業でないとあまり意味がないと思いました。

○外回りが少なかった。

- 非常に有意義な実習となり、貴重な経験をさせていただいたことに心から感謝いたします。
- 留学生向けの実習があれば、それとも留学生を積極的に受け入れたい実習先があれば、その機会を提供していただければありがたいです。
- インターン研修の内容はとてもよかったです。よりたくさんの会社のインターンがあればいいなと思いました。問題として感じたことは、インターン実習の期間がはっきりしていなかったことです。私の実習先だけではなかったのですか、初めに掲載されていた期間が決定後に変更され、前期の授業または、後期の授業とかぶってしまうことがありました。企業の方の都合もあり難しい部分もあるかなとは思いますが、出来るだけ迅速に正確な情報を伝達していただければより充実したスケジュールを組めるのではないかと思います。
- かなり実際の業務を体験させていただきとても充実した実習になりました。
- 受け入れ人数を一人ではなく2～3人にしてグループ作業というのもみてみたかった。
- とてもやりがいのある体験になりました。
- 最初は長いと思っていたインターン期間も実習が始まるとあまり長さを感じなかった
- 実習内容が自分の希望にそったもので満足した。
- 仕方がないことだと思いますが、実習先にアルバイトで参加している人が多くて彼らは自分たちインターン生と全く同じ時間同じ作業をしているのにお金をもらっておられて、少し複雑な気持ちになることがありました。仕方がないことだとはわかまえていますが、金額が金額だったので……。何か少し差別化でもあればよいかと思いました。
- 実習の内容は、会議の傍聴や事業の説明を受けるなど受け身のかたちでの実習がおおくありました。自分で考えたり提案するような機会が少なくなってしまったことは自分の反省点であり、プログラムの改善点でもあると思いました。
- 実習先の方々にとっても親切にご指導いただいたので、大学の講義では学ぶことはできないたくさんの経験ができました。また、自分の将来の進路についても深く考えることができ、3週間という限られた時間ではありましたが、本当に充実した日々を過ごすことが出来ました。
- 本当に充実したインターンシップとなりました。ありがとうございました。
- 社会人の方と混じって働くのは非常に良い経験となったと思う。アルバイトなどは決まった業務を行うこと+αで求められることはないので、厳しい職場の雰囲気に触れられたと感じている。
- とても実り多い実習でした。大変楽しかったです。
- 3週間という期間でとても充実した実習をすることができました。
- 交通費を少しだけ出してもらえると助かると思う。
- 受入れ先での研修日程とインターンシップ・プログラムの授業日が重なっていることが多く、十分な研修ができないまま実習に入ったため、受入れ先とするならば日程の調整が必要である。
- 私の実習先では、業務を体験するというよりはボランティアのように感じ少し期待していたものとは違った。しかし、実際に行くと自分自身のためになることが経験でき無駄な事ではなかった。
- インターン生は複数人が望ましいと思った。

(3) 事前・事後学習について

- 一応同じ業界ごとのクラス別にはなってるみたいですが、私のクラスは私のところ以外は、サービスや小売り系で情報や意見に偏りがあり少しやりにくかった。また、担当コーディネーター毎にクラスでやっている取組みの充実度も少し差があると感じた。
- マナー講習やロジカルシンキングは個人的に今後役に立つので大変良かった。他大学の人と意見交流できてもっと自分の意見をしっかりと持とうと思った。
- 事前学習が一日の間に詰め込み過ぎてしんどかったです。

- ゼミ内での交流が活発なところとそうでないところの差があると感じた。トレーニング講習は自分のスキル向上にすごく役に立つ時間であったと思う。受入れ先について、もう少し和菓子業界があればいいと思う。
- 事前学習があったのはモチベーションアップになった。他大学の人との交流もできて刺激になった。
- マナー講習はとてもよかったです。
- 事前学習や事後学習のプログラムでゼミでの話し合いはもう少し短くても良いと思う。
- 事前学習・事後学習の時間をもう少し減らしても良いかと感じました。しかし、インターンシップ・プログラムともにとっても充実した時間となりました。
- インターンシップを終えてから事後学習までが長いように思いました。
- ロジカルシンキングで自己PRについて考え、発表したことが別の機会で役立ったのであの時真剣に向き合えてよかったなと思った。ゼミの仲間とも親しくなれて他大学に友人ができたことをうれしく思う。意見共有や発表形式の授業で、コミュニケーション能力が少し向上したのではないかなと思う。
- 事前学習が長すぎるように思います（拘束時間が長い）。
- 同じような業種の人達と同じクラスだったのでその業界に対する知識が深まったと思うので良かったです。ありがとうございました。
- 日程が予め詳しく決められていて予定が立てやすかった（事前・事後学習）。
- マナー講習やロジカルシンキングの授業をもう少し増やしてほしいです。
- 事前学習がしっかりしていたので、とても助かりました。このゼミは、とてもありがたかったです。
- 事前・事後学習が数日に渡って行われ、レポート作成やゼミでの意見交換をすることで、自分分析や今後の課題をしっかりと考えることが出来ました。大学内だけでは、考えられないようなことや、他大学の学生と交流もとれ、良い刺激になったと思います。
- 大学へのインターンシップだったのにクラスのほとんどが銀行系だったことが不満。
- クラス分けに不満があります。大学事務や教育分野でのクラスを作ってほしかったです。
- 事前学習の時間が多すぎる。特にマナー講習のあった日は大変疲れた。
- 事前事後学習は、絶対に必要である。そのおかげで実習の目的が明らかになり振り返りができるからだ。これからも、教育を趣旨にプログラムを提供してもらいたい。
- 実習だけでなく事前事後のケアをしていただけてありがたいです。
- 事前学習の回数や時間が少し長いと感じました。
- ゼミの単位での学習では担当コーディネーターによって差がとてもあるように感じた。細やかな指導は必要であるが、もう少し形式やフォーマットを作成して行う方が学生としては内容が入ってきやすいのではないかなと思う。
- 正しい敬語の使い方や、ロジカルシンキング等ためになる講習がありよかったですと思います。
- もう少しゼミにおいて生徒同士との交流をとれるようなゼミの形にしてほしかったと少し思いました。ゼミの先生対生徒一人一人で方の人が参加する形でなかったのもそういった形もあるが自分には合わなかった。レポートの指導に関しては適切かつ親切で良かったと思います。
- ゼミのクラスが楽しく色んな人と関わって良かった。
- 事前学習でマナーやロジカルシンキングについて学んだことで、インターンシップ中は、慌てることなく取り組むことが出来ました。
- インターンシップ以外の研修が多いです。省いてほしかったです。

○自分自身の課題、直すべきところがみえた点では非常に良い期間になりました。しかし、事前学習で学んだことを実習先で意識したためにかえって良くない方向にってしまった点もあり、（私の考え次第でもありますが・・・）逆に変な知識を入れずに（マナー等の基礎は除く）実習に挑みたかったという気持ちも少し残りました。

○事前研修のレベルをもう少しあげても良いと思います。

○非営利団体での実習でしたが、ゼミのクラスでは市役所の公務員を中心とした学習がほとんどであったため、知識は増えたものの、非営利団体クラスではまた別のマッチした学習となったのかもしれないと思うと、悔しさが残ります。先生のご指導は大変ためになったのですが、クラス分けに疑問が少し残りました。事務局の対応は親身になってくださって、アドバイスなどを戴けたので、とてもありがたかったです。

○クラスによって講座の進め方が異なっていると聞いたので他のクラスではどんな講座内容で学んでいたのかを知りたいと思った。また、インターンシップ中に先生方が様子をみに来たりするところもあったということを知り、自分の所にも自分が働いているところを見てほしいと思った。主観的には感じることも客観的に見たら自分はどのように見えるのかをみて教えてくれる人がいてほしかった。

○コンソーシアムのインターンシップは他と違い、事前学習や事後学習が充実しており、自分を考える時間が多くとてもよかったです。

○クラスではもっと多くの業界を志す人との交流を持ちたかった。他業界を知ることにより広い視野を持つことができるようになると思う。

(4) その他について

○1万円はちょっと高い。申し込みするのに勇気がいる。

○前例がないかもしれないが、関東圏から来る人のことを考え、郵送等例外的なことを認めてもらえると思います。

○中間指導がほぼ終わりかけに行われ、少し戸惑いました。全体の中での中間とはわかっていますが少し中途半端な気がしました。

○レポートの提出日と提出場所が事前事後学習をした日、場所と同じだった方がありがたい。

○日誌の記入欄をもう少し増やしていただきたいです。実習と事前学習の間が私の場合少し広がったのでもう少し直前だともっと実践できたのかなと思います。

○前年度に自分と同じ部署を実習した人の感想を、エントリー時の受入れ先の欄にあれば、具体的なイメージがつかめると思う。自分は、休日込みで実習が1ヶ月もあったので志望者が戸惑うと思う。

○名刺の使い道が分からなかった。個人的には、マナー講習はすごくよかった。

○交通費がかさむので、レポートの提出は郵送もできた方がいいと思いました。名刺の使うタイミングが全くなかったので必要ないかと思いました。

○応募の締め切りが早くて一般企業のインターンに参加できない。マイナビとかの6月に統一すべきではないか。

○名刺の必要性が感じられなかった。

○名刺を作ってくださいありがとうございます。来年以降も作ってあげてください。

○実習先に事前訪問のお電話をさせていただいた際に「代表者が代わっている」ということがあった。できるなら変わったという連絡をいただきたいかった。実習簿を早目に渡してほしい。

○実習日誌の説明がないまま事前訪問でコメントを求めたり、質問されても答えられない場面があったので前もって説明が欲しかった。

○実習日誌の書き方を詳しくおしえてほしかったなと思いました。

○レポートの仮提出から本提出までの期間短すぎると思いました。修正期間をもう少しとって欲しいと思いました。

○名刺を戴けたり、ゼミがあったりしたことはとてもよかった。コーディネーターの先生はレポートの添削をととても丁寧にしていただき、言葉づかいや誤字の指摘もしてくださったので、本当に良かったです。同じコンソーシアムですが、大阪コンソーシアムの方は1万円を払うことはなく、インターンシップに同じように参加していました。インターンシップに参加することに1万円の（保険料）として支払うことに少し不満に思いました。

2. プログレスコース

○15000円というお金を払い参加しましたが、50000円分、いや、もっとの価値を手に入れることができたと思います。

○あくまで個人的な意見ですが、より多種多様なプロジェクト先があればより、多くの業界を知る機会になると思います。

○インターンシップで自分の将来のためのことを学び、他のことを知ることができ、良い場でよいものだった。

○インターンシップにおいての課題についてや先生たちとコンソーシアムとの連携が上手にできていなかったと思いました。発表の方法、レポート、中間発表での府教委のパワポの使用など。

○インターンシップを通して自分が一回りも二回りも成長できたかなと思います。

○インターンシップを通して同じ志を持つ仲間と出会えたことで自分にとって良い刺激になりました。また、小学校に行って現場の先生の熱い思いに触れ、自分自身また今までより一層教師になりたいという思いが強くなりました。

○コンソーシアムでの講義が有意義でない時もありました。

○教育委員会以外の企業の方もいて様々な良い影響を受けた。

○教師を目指しているとしても”教師”という仕事にのみ注目してしまいがちだが、他のプロジェクトの活動を見ることができ、視野を広げることができた。京都府教育委員会の中でも自分が志望する小学校に限らず、中学校を志望する経験を積むことができた。そこから少しでも成長できたと思う。インターンシップ中に何度も発表する機会があり、プレゼンテーション能力も向上したと思う。

○口下手というのもあるが、発言は苦手でしたが、それも少しは克服できたと思いますし、社会の仕組みに関してほぼ無知だった僕はインターンシップでとても貴重な体験やお話を聞いて、考え方、見方が変わりました。ありがとうございました。

○講義について、私事ですが家が遠く電車のある時間があったので時間延長してしまう時がたびたびあったのが少し困りました。プログラムに関してはとてもいい経験をさせていただいたと思います。

○講義に時間を割くことで、プロジェクト自体の始動が遅れてしまったので、講義のバランスを考慮してほしいと思いました。

○講義よりもプロジェクト自体にもっと時間をさけても良かったと思いました。

○私は様々な社会人と触れ合いこれから社会に出るための、準備をしたいと思いこのプログラムに参加しました。期間中は様々なことがありましたが、参加して良かったと思っています。ありがとうございました。

○事前講義で目標を決めるなどの時間がたくさんありましたが、事後講義も同様グループで活動結果を振り返る時間がもう少しあれば良かったなと思います。

○時間が長くなりすぎたりするところがあったので、帰るのが遅くなりすぎるところがあった。コンソーシアムの時間をもう少しプログラムに回してほしいです。

○実習生の間で、良くも悪くも緊張感がなくなっていったように思う。

○社会人を、そして、社会を一番早く知る良い機会であるので参加を皆さんしてほしいです。そして、このインターンシップに参加できたことはとても誇りに思います。ありがとうございました。

○授業とインターンシップとの違いとして、企業の方のお話をたっぷり聞けることにあると思います。コーディネーターの先生方には非常にお世話になり、大変感謝していますが、介入の度合いに対して見直しも必要かと思いました。

○収支を黒字化にできなかった事悔しかった。またリベンジしたい。本インターンシップに参加できて、貴重な体験をすることができました。ありがとうございました。

○深い学びを得たと実感しています有難うございました。

○他大学の学生がせっかく集まっているのに交流の機会が少ない気がします。もう少しプロジェクトを超えた交流ができればいいなと思います。

○府教委だけ違う日程だったので、最終合わせるのに少し苦勞しました。しかし、反対に先生になりたいと思う人たちだけで進めることができたのは本当に良かったです。

○府教委は他の団体と別のプログラムだったので、他のところの進行状況がわからなかった。そして、交流が少なかったのも少し残念であった。また、実習日誌の最終頁周辺もどのように書いたらいいかわからず書くべき内容なのかも迷いました。一方で、インターンシップのプログラムはかなり内容が充実していて、将来を吟味することができました。ありがとうございました。

○目標が達成できなくて悔しかったが、得られたことがすごく大きかった。

○良い経験ができました。

第5章 今後の課題

事業創設時より受講生、受入団体の拡大とプログラム水準の高度化を進めてきたが、インターンシップの定着化に伴い、財団事業としての特色が求められている。2015年度は、質的充実のため、講義内容も含めたプログラム全体の見直し・改善をインターンシップ研究会を中心に進める。

まず全コース共通課題として、新任を含めたコーディネーター相互の連携強化、事務処理の正確性向上、迅速化を目的に、受入れ先エントリーシステムの再構築、学生出願受付システムの構築を検討する。またコース運営の円滑化のため、プロジェクト遂行上のコーディネーターの役割をより明確にする。

また、大学との委託契約については2014年度より、単位認定を行おうとする大学と財団間においてインターンシップ事業に関わる委託契約の締結を開始した。本年度の反省を踏まえたうえで、2015年度も引き続き委託契約を進める。

そして、インターンシップ修了後一定期間を経た元受講生を対象としたアンケート調査を実施し、インターンシップ・プログラムの教育目的の効果測定を行う。このアンケートを通じて、財団インターンシップの魅力と特色を発信し、同時に修了生の組織化を検討する。

I. プログレスコースの課題

2015年度は、一部講義を受入れ先でも実施することを可能にした講義計画を設計し、受入れ先の負担を軽減するようにしていく。今後も、受入れ先の質・数の確保を目指し、高い教育効果を得られるようプログラムを検討する。また、受入れ先、コーディネーターとの連携を深めるようにする。

II. ビジネス・パブリックコースの課題

事前・事後学習プログラムの内容充実、各大学へ委嘱するコーディネーターの安定的確保が懸案事項である。受入れ先や学生からの要望が多い、他クラスとの交流を深められる講義形式を検討する。

資料1. 出願者・受講者数と受入れ企業・団体数について

1) コース別 出願者数と登録団体数

コース名	学生			企業・団体		
	出願者数	実習許可者数	修了者数	登録団体数	受入れ団体数	受入れ率
ビジネス	555	281	268	179	147	82.1%
パブリック		91	85	57	41	71.9%
プログレス	66	65	64	11	9	81.8%
合計	621	437	417	247	197	79.8%

2) 学年別 出願者数と受講率

学年	出願者数		実習許可者数		受講率
	人数	全体に占める割合	人数	全体に占める割合	
1年次(回生)	1	0.2%	1	0.2%	100.0%
2年次(回生)	70	11.3%	49	11.2%	70.0%
3年次(回生)	531	85.5%	373	85.4%	70.2%
4年次(回生)	11	1.8%	7	1.6%	63.6%
5年次以上(回生)	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
大学院生	8	1.3%	7	1.6%	87.5%
合計	621	100.0%	437	100.0%	70.4%

3) 男女別 出願者数と受講率

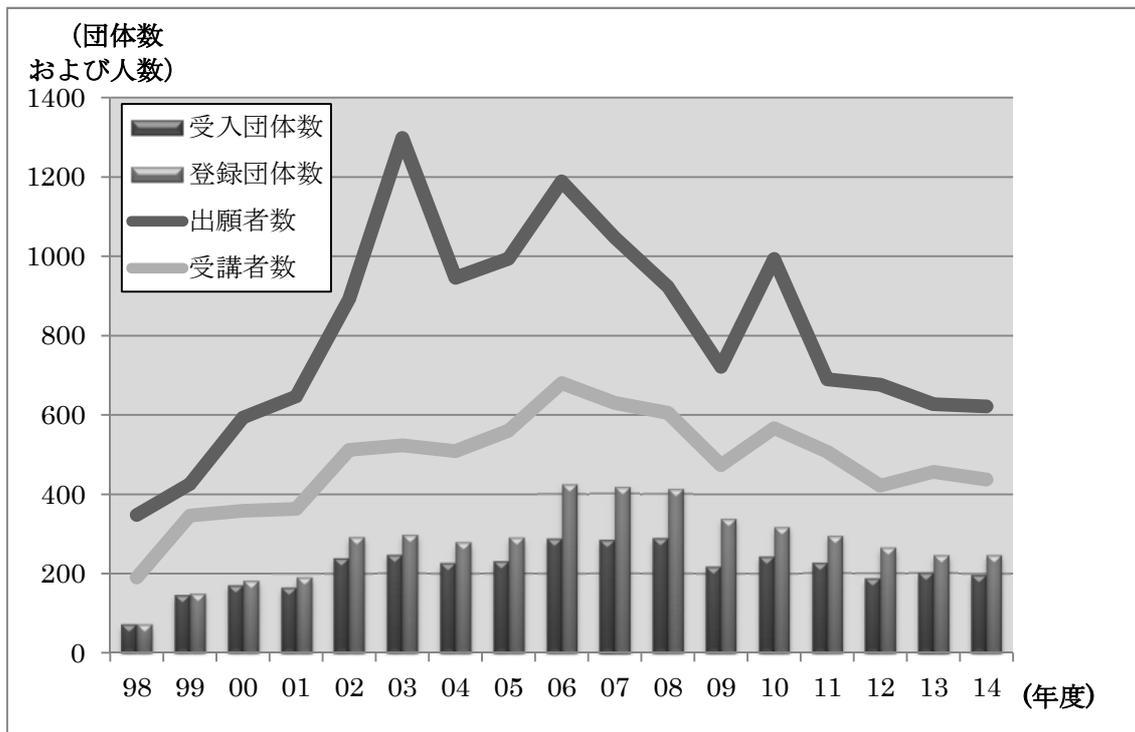
	出願者数		実習許可者数		受講率
	人数	全体に占める割合	人数	全体に占める割合	
男性	218	35.1%	147	33.6%	67.4%
女性	403	64.9%	290	66.4%	72.0%
合計	621	100.0%	437	100.0%	70.4%

4) 大学別 出願者数

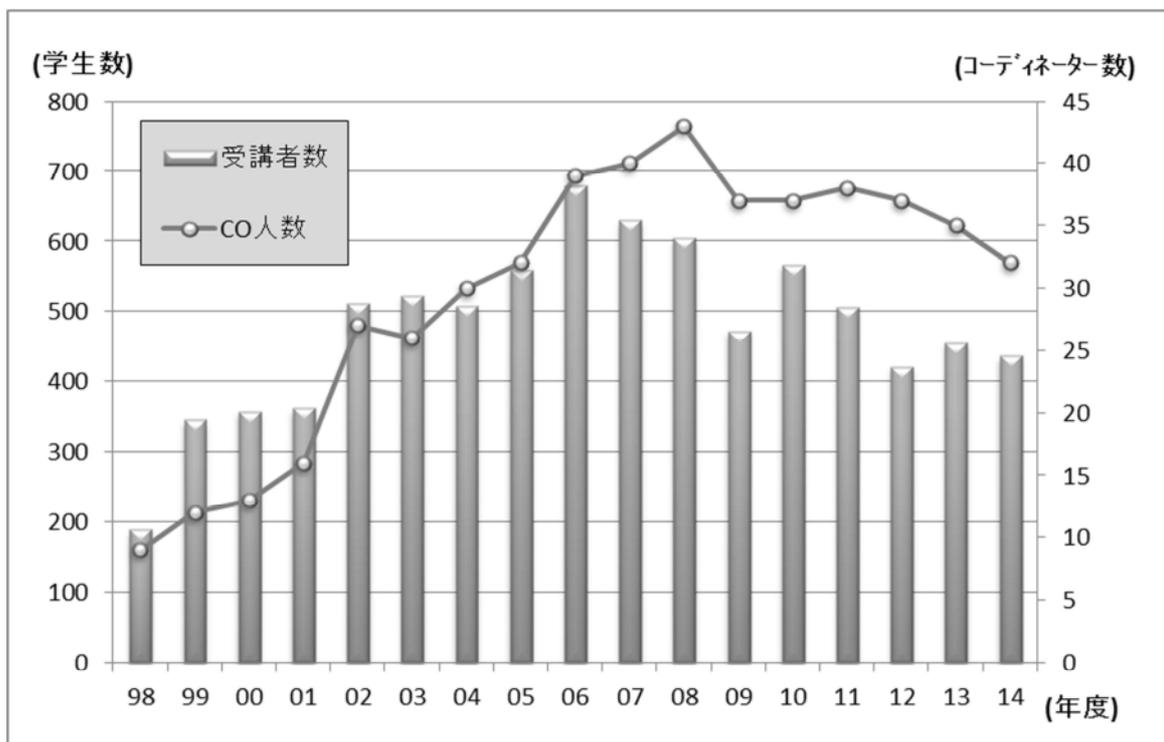
	大学名	出願者数		大学名	出願者数	
加盟大学	京都大学	7	加盟大学	京都美術工芸大学	0	
	京都教育大学	4		京都文教大学	84	
	京都工芸繊維大学	16		京都文教短期大学	0	
	京都市立芸術大学	0		京都薬科大学	0	
	京都府立大学	24		種智院大学	0	
	京都府立医科大学	0		成安造形大学	18	
	池坊短期大学	0		成美大学	0	
	大谷大学	8		成美大学短期大学部	0	
	大谷大学短期大学部	0		同志社大学	100	
	京都医療科学大学	0		同志社女子大学	29	
	京都外国語大学	0		花園大学	2	
	京都外国語短期大学	0		佛教大学	4	
	京都学園大学	7		平安女学院大学	0	
	京都華頂大学	0		平安女学院大学短期大学部	0	
	華頂短期大学	0		明治国際医療大学	0	
	京都看護大学	0		立命館大学	24	
	京都経済短期大学	0		龍谷大学	186	
	京都光華女子大学	6		龍谷大学短期大学部	0	
	京都光華女子大学短期大学部	1		大阪医科大学	0	
	京都嵯峨芸術大学	3		京都情報大学院大学	0	
	京都嵯峨芸術大学短期大学部	0		放送大学 京都学習センター	0	
	京都産業大学	19		非加盟大学	大阪大学	2
	京都女子大学	43			大阪経済大学	2
	京都女子大学短期大学部	0			兵庫県立大学	1
	京都精華大学	1			奈良県立大学	1
	京都西山短期大学	0			長浜バイオ大学	1
京都聖母女学院短期大学	0	大阪市立大学	1			
京都造形芸術大学	3	関西大学	1			
京都橘大学	11	茨城大学	1			
京都ノートルダム女子大学	11					
			出願者総数		621	

資料2. 参加団体・出願者・受講者・コーディネーター数の推移

1) 参加団体数と出願者・受講者数の推移



2) 受講者数とコーディネーター数の推移



資料3. エントリー企業・団体一覧

ビジネスコース

■建設・不動産

株式会社学生ハウジング
京都駅ビル開発株式会社
有限会社一級建築士事務所 ターボ設計
株式会社ダン計画研究所
株式会社社長栄
株式会社莫設計同人
株式会社フラットエージェンシー
株式会社類設計室
株式会社ローバー都市建築事務所

■製造

株式会社石田老舗
株式会社加貫ローラ製作所
カナリア株式会社
株式会社川勝總本家
有限会社共同設計企画
株式会社京都科学
キンシ正宗株式会社
グンゼ株式会社
月桂冠株式会社
株式会社田中印刷
寺崎電気産業株式会社
日華化学株式会社
日新電機株式会社
日東精工株式会社
日東電工株式会社
日本新薬株式会社
株式会社堀場製作所
マルホ発條工業株式会社
株式会社壬生電機製作所
ムラタ

■情報・通信・マスコミ

アートム株式会社
有限会社ウイズ
株式会社おいかぜ
株式会社キイストン
株式会社教育ソフトウェア
株式会社京都放送
協和テクノロジーズ株式会社
GMO クラウド WEST 株式会社
株式会社SIGEL
株式会社総合システムサービス
中央コンピューター株式会社
株式会社DNPデジタルコム
東映株式会社 京都撮影所
バルトソフトウェア株式会社
株式会社フロムページ
メインソリューション株式会社

■運輸・流通

株式会社エルムンドトラベル
株式会社サカイ引越センター
株式会社JTB西日本
株式会社塚腰運送

■卸売・小売・販売

株式会社老松
株式会社くろちく優美坐
株式会社鼓月
株式会社佐野
三共精機株式会社
株式会社ジェイアール西日本伊勢丹
秀和株式会社
株式会社ジュンク堂書店 京都店
株式会社聖護院ハツ橋総本店
生活協同組合コープこうべ
ダイイチ株式会社
つるやゴルフ
株式会社富田屋
株式会社 西利
株式会社野田屋
株式会社ハートフレンド
(総合食品スーパーフレスコ)
株式会社花工房
パナソニック
システムネットワークス株式会社 関西社
株式会社ヒトミ
富士ゼロックス京都株式会社
丸善株式会社京都支店
株式会社ミル総本社
八洲薬品株式会社
株式会社やまざき

■金融・保険・証券

株式会社葵総合保険
株式会社エスアールエム
SMBC日興証券株式会社
株式会社京都銀行
京都信用金庫
京都中央信用金庫
株式会社滋賀銀行
全労済中日本事業本部
西村証券株式会社
野村證券株式会社 京都支店
三井住友カード株式会社

■飲食・宿泊

ウェスティンホテル大阪
ウェスティン都ホテル京都
株式会社プリンスホテル
大津プリンスホテル
京都タワー株式会社
京都ブライトンホテル株式会社

株式会社プリンスホテル
グランドプリンスホテル京都
株式会社グルメ杵屋
里湯昔話 雄山荘
株式会社 琵琶湖ホテル
株式会社ホテルグランヴィア大阪
株式会社ロイヤルホテル
リーガロイヤルホテル京都
株式会社ロイヤルホテル
(リーガロイヤルホテルグループ)

■医療・福祉

医療法人財団康生会武田病院
社会福祉法人行風会
医療法人社団 千春会
洛和会ヘルスケアシステム

■教育

大谷大学
株式会社キャリア総研
京都外国語大学 京都外国語短期大学
京都学園大学
京都華頂大学・華頂短期大学
京都工芸繊維大学
京都産業大学
学校法人京都産業大学 すみれ幼稚園
京都女子大学
京都聖母女学院短期大学
京都大学
京都ノートルダム女子大学
京都文教大学
京都薬科大学
公益財団法人 大学コンソーシアム京都
学校法人大和学園
同志社女子大学
同志社大学
学校法人 佛教教育学園 佛教大学
立命館大学
龍谷大学

■士業

司法書士法人 F&Partners
大阪社労士事務所
特許業務法人京都国際特許事務所
中央ビジネスグループ
中村利雄法律事務所

■出版・印刷・広告

株式会社あおぞら印刷
株式会社エトレコミュニケーションズ
株式会社エフアイシー
株式会社関広
株式会社京都通信社
有限会社くらむぼん出版
株式会社サンエムカラー
株式会社島津アドコム
株式会社ディライツ広告事務所
株式会社図書印刷同朋舎
株式会社ビードリーム
株式会社貿易広告社 大阪支社
株式会社リーフ・パブリケーションズ

■人材ビジネス

オムロン パーソナル株式会社
学生情報センターグループ
株式会社ナジック・アイ・サポート
株式会社キャリアパワー

■サービス業・その他

株式会社アイアム
嵐山通船株式会社
株式会社 いろいろ
株式会社エイジェイクリエーション
オーパルオブテックス株式会社
かみなか農楽舎
キノビクス株式会社 京都営業所
株式会社京都映画センター
京都エレベータ株式会社
京都商工会議所
京都精華大学
京都国際マンガミュージアム
京都生活協同組合
株式会社京都メディカルクラブ
霧の森
近建ビル管理株式会社
株式会社近鉄ホテルシステムズ
新・都ホテル
近鉄レジャーサービス株式会社
(志摩スペイン村)
草津商工会議所
株式会社くろちく
サンスイコンサルタント株式会社
しあわせ総合研究所グループ
株式会社ジイケイ京都
株式会社高浄
株式会社地域未来研究所
株式会社テスパック
西陣織会館
株式会社日建設計
株式会社乃村工藝社
株式会社ビーイング
株式会社ビックスマイル

株式会社 Hibana
公益財団法人びわ湖ホール
ブルーフォグ・ソリューション株式会社
有限会社丸益西村屋
株式会社三菱総合研究所
株式会社ユメコム
ワタベウェディング株式会社

パブリックコース

■官公庁

芦屋市
綾部市役所
宇治市役所
近江八幡市
大阪市立総合生涯学習センター
亀岡市役所
京田辺市役所
京都国立近代美術館
京都市
京都市野外活動施設 花背山の家
京都府庁
近畿経済産業局
草津市役所
滋賀県庁
城陽市
摂津市
徳島県大阪本部
豊中市伊丹市クリーンランド
長岡京市役所
南丹市教育委員会
東近江市役所
彦根市
福知山市役所
宮津市役所
向日市役所
守山市役所
八幡市役所
栗東市役所
京都府立るり溪少年自然の家

■非営利組織<NPO・NGO>

あそあそ自然学校
特定非営利活動法人
アントレプレナーシップ開発センター
大阪高齢者生活協同組合
一般財団法人
大阪市男女共同参画のまち創生協会
一般財団法人
大阪府男女共同参画推進財団
特定非営利活動法人
関西国際交流団体協議会
特定非営利活動法人気候ネットワーク
京都芸術センター

特定非営利活動法人京都子どもセンター
公益財団法人京都市国際交流協会
公益財団法人 京都市ユースサービス協会
財団法人京都ゼミナールハウス
京都府地球温暖化防止活動推進センター
一般財団法人京都ユースホテル協会
公益財団法人
公害地域再生センター(あおぞら財団)
特定非営利活動法人子ども自立の郷
ウォームアップスクールここから
NPO法人
ささえあい医療人権センターCOML
特定非営利活動法人
生活環境づくり21・NPOフォーラム
特定非営利活動法人伝統みらい
特定非営利活動法人
とよなか市民環境会議アジェンダ 21
公益社団法人長浜観光協会
NPO法人のあつく自然学校
枚方統括事務所
NPO法人ピープルアクティブライフ
一般社団法人比良里山クラブ
認定NPO法人びわこ豊穰の郷
特定非営利活動法人まんぼう
京エコロジーセンター
(京都市環境保全活動センター)
特定非営利活動法人結芽

プログレスコース

株式会社インサイトハウス
株式会社インテリジェンスオフィス
特定非営利活動法人気候ネットワーク
NPO法人木野環境
京都府教育委員会
特定非営利活動法人子ども自立の郷
ウォームアップスクールここから
四国アイランドリーグplus(株式会社IBLJ)
公益財団法人 大学コンソーシアム京都
株式会社ナスカ
株式会社ユメコム
洛和会ヘルスケアシステム

資料4. プログレスコース講義概要

日程	時間	全体の流れ	回数	講義名	講義形式	内容	
6/19(木)	18:00 ～19:30	オリエンテーション	第1講	オリエンテーション（プロジェクト型インターンシップのリスクマネジメント、プロジェクトメンバーの相互理解）	全受講生 合同	プログラムの概要やプログラムに臨む心構え等を説明します。プロジェクト毎にプロジェクトメンバーの紹介をします。	
	19:40 ～20:20		第2講	プロジェクト・マネジメント(プロジェクト・マネジメントの概要 -PCMの講義-)		計画→実施→評価のプロジェクト・サイクル・マネジメントの手法を学ぶ	
6/26(木)	18:00 ～19:30	プロジェクトの導入	第3講	企業人ならびに修了生によるプレゼンテーション(プロジェクトの経験談・アドバイス等)		企業人のアドバイスと修了生による体験談からプロジェクト・マネジメントを学ぶ。	
	19:40 ～21:10		第4講	コミュニケーショントレーニング		就業意識の向上、ビジネスマナーの基本、対人関係の中でのコミュニケーション能力等について、専門講師を招いて講習します。	
7/3(木)	18:00 ～19:30	プロジェクト形成	第5講	プロジェクト・マネジメント (テーマに応じて実習や事業のデザイン①)	各プロジェクト	プロジェクト目標の明確化	
	19:40 ～21:10		第6講	プロジェクト・マネジメント (テーマに応じて実習や事業のデザイン②)		プロジェクト内容の明確化	
7/10(木)	18:00 ～19:30		第7講	プロジェクト・マネジメント (テーマに応じて実習や事業のデザイン③)		プロジェクトを形成する体制の明確化	
	19:40 ～21:10		第8講	プロジェクト・マネジメント (テーマに応じて実習や事業のデザイン④)		プロジェクト活動計画表を完成させる	
7/17(木)	18:00 ～19:30		第9講	プロジェクト・マネジメント (今後の活動の確認、活動計画の発表)	全受講生 合同	プロジェクト活動計画表の発表。他プロジェクトの受講生との意見交換を行い、プロジェクト活動計画表の完成度をあげます。	
	19:40 ～21:10		第10講	プロジェクト・マネジメント (他プロジェクトとの意見交換)			
夏休み期間中には、受入れ先ごとにプロジェクトを行います。							
10/2(木)	18:00 ～19:00		フォローアップ	第11講	プロジェクト・マネジメント (プロジェクト中間報告)	全受講生 合同	それぞれのプロジェクトにおける夏期休暇中の進捗状況を報告しあい、今後の成果報告会に向けての準備を行っていくとともに、プレゼンテーションのポイントや方法等については専門講師よりレクチャーを受けます。また、プログラム受講を通しての、自己の変化を振り返ります。
	19:05 ～20:05	第12講		プロジェクト・マネジメント (プロジェクト評価方法の概要)			
	20:10 ～21:10	第13講		プロジェクト・マネジメント (プレゼンテーショントレーニング)			
10/16(木)	18:00 ～19:30	フォローアップ	第14講	プロジェクト・マネジメント (プレゼンテーション準備①)	各プロジェクト		
	19:40 ～21:10		第15講	プロジェクト・マネジメント (プレゼンテーション準備②)			
10/30(木)	18:00 ～19:30	フォローアップ	第16講	プロジェクト・マネジメント (プレゼンテーション準備③)			各プロジェクト
	19:40 ～21:10		第17講	プロジェクト・マネジメント (自己評価:プログラム受講を通しての自己の変化を振り返る)			
11/15(土)	10:40 ～12:10	プロジェクト報告・評価	第18講	成果報告会・修了式	全受講生 合同	約5ヶ月にわたるプログラムの総括として、プロジェクトごとに活動報告を行います。全体で、それぞれのプロジェクトの到達点について相互評価を行い、今後の学生生活の目標を明らかにします。また、修了証を授与します。	
	13:00 ～14:30		第19講				
	14:40 ～16:10		第20講				
	16:20 ～17:50		第21講				
	18:00 ～19:00			懇親会		受入れ先担当者・コーディネーター・受講生による懇親会 ※参加必須	

資料5. プログレスコースプロジェクト別コーディネーター一覧

受入れ先	プロジェクト概要	受講生数	コーディネーター
京都府教育委員会	【教員養成サポートセミナー】 教員を目指す大学生が、学校現場での演習を通して理論と実践を結びつけ、実践的指導力を身に付けていくことを目指す。	24	谷口 知弘 (同志社大学)
株式会社ナスカ	【ネイル投稿サイト運営(検索エンジン対策)】 サイト運営を体験しながら、GoogleやYahooといった検索サイトから集客(=SEO)するにはどのようにすればいいのかをテーマに、検索エンジンに引っ掛けるためのページの作成、ネイルについてのコラム記事の取材と更新をPDCA(計画を立て実践、効果を検証し、修正する流れ)を繰り返しながら取り組む。	4	○舟橋 和夫 (龍谷大学)
NPO法人木野環境	【環境経営支援プログラムの作成】 環境に関する研究・調査・広報等の活動を通して、グリーン市場の形成、環境配慮型経営が当たり前の社会づくりを目指し、観光とものづくりのまち京都の企業、市民、行政が協同して取り組む環境経営支援プログラムを作成する。	1	西村 雅信 (京都工芸繊維大学)
株式会社ユメコム	【自分の老後と家族の介護の情報誌発行にかかわるプロセスを学ぶ】 情報誌『ライフライク』の実際の編集制作及び営業にかかわるプロジェクト。高齢社会で誰しもが抱える、本人や家族の老後・介護問題を取り上げた記事、また老後の楽しみや日常生活を充実させる商品の通販など、多彩な内容を取材を通じて制作する。	1	◎渡邊 博己 (京都学園大学)
株式会社 インテリジェンスオフィス	【ヒトマナビインターンシップ2014】 フリーペーパー『働く人々図鑑2014』の発行。もっと伝わる、もっと必要とされるフリーペーパーをつくるためにはどうすればよいかを企画し発行するうえで、プロジェクトマネジメントを学ぶ。	9	
公益財団法人 大学コンソーシアム京都	【「京都に留学！」海外学生受入れプログラムの企画】 京都市との協働事業として、2015年度実施予定の「短期留学生受入プログラム(仮称)」で、運営の中心となる「学生スタッフ」の組織化と、留学生への支援方法および京都での生活を充実させるための交流企画の提案を求める。	7	河村 能夫 (龍谷大学)
特定非営利活動法人 子ども自立の郷ウォーム アップスクールここから	【真夏の夜の光祭り2014】 夏の終わりの光のお祭りが、地域の夏の恒例行事となっていくように、寄宿している不登校の子どもと、地域の方々と協働開催できるよう、企画・運営の中心となって成功させる。	7	申 昌浩 (京都精華大学)
株式会社 インサイトハウス	【きょうのやましなさん】 地域住民の方にインタビューを行い、その物語をフェイスブックやホームページなどで情報発信し、人と人のつながりをつくって、地域の活性化を目指す。また、フリーペーパーを作り地域の方々に配布したり、イベントを行って、人の「つながる場」を提供する。	1	山本 建太郎 (京都工芸繊維大学)
株式会社IBLJ (四国アイランドリーグ)	【2014年四国アイランドリーグ公式戦を運営しようin皇子山球場(滋賀)】 2014年アイランドリーグ公式戦の1試合について、試合の詳細企画、試合の宣伝、チケット及びグッズ販売、スポンサーの獲得、選手の移手段、諸々を計画し赤字を出さず利益を出せるように運営する。	11	久保 和之 (龍谷大学)

資料6. ビジネス・パブリックコース講義概要

日程	時間	回数	講義名	講義形式	内容
6/14(土)	10:00 ~11:00	第1講	オリエンテーション：実習参加の心構え	全受講 生合同	プログラムの概要や、プログラムに臨む心構え等を説明します。
	11:10 ~12:40	第2講	クラスの相互理解	ゼミ	クラスに分かれ、担当教員を中心として、クラスメンバーの紹介をしあいます。
	13:40 ~15:10	第3講	実習に向けた目標と仮説設定 ＜グループディスカッション＞		グループディスカッションを中心として、実習目標と仮説設定のための意見交換を行います。
	15:30 ~16:30	第4講	コミュニケーショントレーニング		就業意識の向上、ビジネスマナーの基本、対人関係の中でのコミュニケーション能力等について、専門講師を招いて講習します。
	16:40 ~18:10	第5講			
6/28(土)	10:00 ~11:00	第6講	スキルアップトレーニング	特別クラス編成	ロジカルシンキングの獲得を目指し、専門講師を招いて実践的理論を学びます。
	11:10 ~12:40	第7講			
	13:40 ~15:10	第8講	業界と社会に対する学習① ＜ゲストスピーカーの講演＞	ゼミ	受入れ先担当者や修了生等のお話をもとに受入れ先について探求し、事前学習レポートの内容を深めます。
	15:20 ~16:50	第9講	業界と社会に対する学習② ＜ディスカッション＞		
7/5(土)	10:00 ~11:30	第10講	実習に向けた目標と仮説設定① ＜グループディスカッションを通した軌道修正＞	ゼミ	事前学習の総まとめとして、最終的に実習目的を明確にします。また、事前学習レポートの書き方のポイントを学びます。
	12:30 ~14:00	第11講	実習に向けた目標と仮説設定② ＜実習直前の相互確認＞		
	14:20 ~15:50	第12講	リスクマネジメント講習	全受講 生合同	実習中に留意しなくてはならないリスクについて学びます。
	16:00 ~17:30	第13講	オリエンテーション：実習にあたって		
実習の実施（原則として8月中旬～9月中旬の期間で実施されます。）					
9/20(土)	9:00 ~10:30	補講	※クラスによって実施される場合があります。	ゼミ	
	10:50 ~12:20				
9/27(土)	10:00 ~11:00	第14講	実習における経験交流 ＜経験の共有①＞	ゼミ	実習において得たことや感じた課題等について相互に発表を行い、個々の体験をクラスで共有します。それらに基づくディスカッションを通して仮説の検証を行い、また、事後学習レポートの内容を深めます。そのうえで、今後の学生生活の目標を明らかにします。
	11:10 ~12:10	第15講	実習における経験交流 ＜経験の共有②＞		
	13:10 ~14:40	第16講	実習における経験交流 ＜グループディスカッションを通した仮説の検証＞		
	14:50 ~16:20	第17講	今後の学生生活を考える ＜レポート作成に向けてのまとめ＞		
	16:40 ~17:10	第18講	全体講評 修了式	全受講 生合同	全体による振り返りと修了証を授与します。
	17:20 ~18:00	懇 親 会			

資料7. ビジネス・パブリックコースコーディネーター一覧

コース	業種・業界	クラス	受講生数	氏名	大学	所属等
ビジネス	ホテル・ブライダル	B-1	16	谷本 啓	同志社大学	商学部
	ホテル・販売	B-2	14	布施 将夫	京都外国語短期大学	キャリア英語科
	ブライダル・販売	B-3	12	吉田 咲子	京都光華女子大学	キャリア形成学部
	製造・小売・販売	B-4	14	○ 三浦 潔	京都文教大学	総合社会学部
	卸売・小売・販売	B-5	15	小山 裕子	京都府立大学	キャリアサポートセンター
	製造	B-6	12	樋口 三郎	龍谷大学	理工学部
	卸売・小売・販売	B-7	15	道和 孝治郎	京都学園大学	経済学部
	金融・証券・教育	B-8	18	山内 雄気	同志社大学	商学部
	金融・証券・保険・教育	B-9	18	遠藤 敏幸	同志社大学	商学部
	士業・コンサルティング	B-10	15	山田 廣己	京都産業大学	大学院法務研究科・法学研究科
	印刷・出版・制作	B-11	16	岸 基史	同志社大学	経済学部
	情報・通信・マスコミ	B-12	16	蒲生 孝治	京都女子大学	現代社会学部
	公共・サービス・出版	B-13	14	長沼 健	同志社大学	商学部
	出版・印刷・広告・教育	B-14	14	◎ 多田 実	同志社大学	政策学部
	医療・福祉・人材ビジネス	B-15	12	石本 哲子	大谷大学	文学部
	教育	B-16	11	坂本 雅則	龍谷大学	経営学部
	建設・不動産・サービス・教育	B-17	13	佐々木厚司	京都工芸繊維大学	大学院工芸科学研究科
	運輸・流通・サービス	B-18	13	桜沢 隆哉	京都女子大学	法学部
	サービス	B-19	15	黒田 健二	京都聖母女学院短期大学	生活科学科
パブリック	官公庁	P-1	13	辻田 祐純	京都府立大学	キャリアサポートセンター
	官公庁	P-2	16	藤木 潤司	龍谷大学	経営学部
	官公庁・非営利組織	P-3	18	河村 能夫	龍谷大学	
	官公庁・非営利組織	P-4	16	酒井 恵光	大谷大学	文学部
	非営利組織	P-5	13	李 為	京都産業大学	経営学部
	非営利組織	P-6	14	◎ 古川 秀夫	龍谷大学	国際文化学部

◎:総合コーディネーター ○:チーフコーディネーター

資料8. 受講生意識調査集計結果

就職に対する意識や自己理解に関する質問項目を設定し、実習若しくはプロジェクト実施の前後に同じ質問に回答する形式の調査を行い、インターンシップが与える影響についての考察を加えた。

社会人として仕事をするうえでの知識や心構えに関わる「就職レディネス」、自己管理能力の感覚に関わる「有能感」、自らの社会における立場をわかまえているかについて知る「自己主体性」の3つの要素を測定するため、30項目の指標を用いた(表-1)。

また、各質問についてはそれぞれ「非常に当てはまる」を6点、「かなり当てはまる」を5点、「やや当てはまる」を4点、「やや当てはまらない」を3点、「かなり当てはまらない」を2点、「全く当てはまらない」を1点として、平均点を算出し、グラフ化して比較した(表-2)。

1.実施日

ビジネスコース・パブリックコース
プログレスコース

2014年7月5日(土)／2014年9月27日(土)
2014年6月19日(木)／2014年10月30日(木)

2.回答数

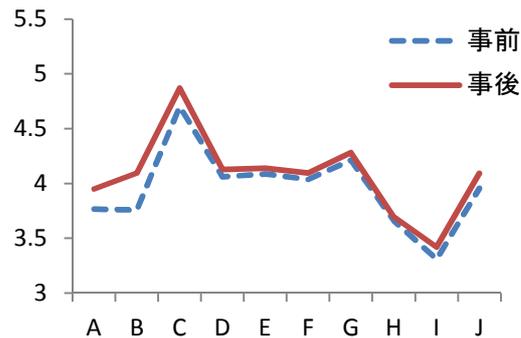
	受講生数	事前		事後	
		回答数	回答率	回答数	回答率
ビジネスコース	281	356	95.7%	350	94.1%
パブリックコース	91				
プログレスコース	65	64	98.5%	64	98.5%
合計	437	420	96.1%	414	94.7%

表-2. 意識調査結果(比較)

<全体>

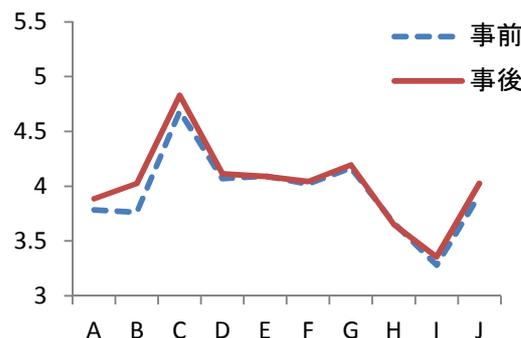
「就職レディネス」に関する項目の変化が大きく、インターンシップに参加することで社会人になる心構えに変化が生じることがわかる。

「有能感」に関する項目において、コースにより差が生じたが、長期間にわたる活動と成果を求められるプログレスコースにおいて「有能感」が伸びたことについてはコースの特性と考えられる。



<ビジネスコース・パブリックコース>

「有能感」に関する項目において、事後調査では事前調査を下回る項目があったが、実際に仕事を体験し、自らに不足している能力に気づくことができた結果ともいえる。



<プログレスコース>

「就職レディネス」の項目の中でも、特にA「職場の人間関係への理解」、B「組織で働くことへの理解」に関する変化が大きく、プロジェクトを実行する過程で、様々な職業、社会人との関わりが変化をもたらしたと考えることができる。

また、「自己主体性」の項目においても大きな変化をもたらす結果となり、単なる就業体験にとどまらないプログラムであったといえる。

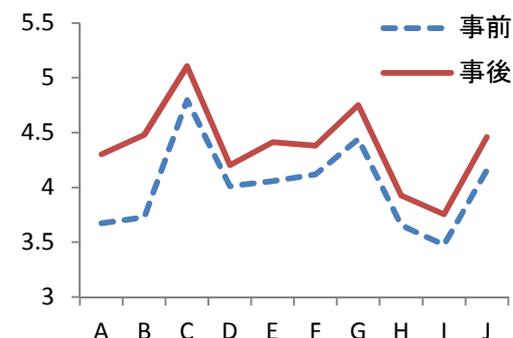


表-就

			実習前						実習後					
			ビジネス・パブリック		プロGRESS		全体		ビジネス・パブリック		プロGRESS		全体	
				平均		平均		平均		平均		平均		平均
就職 レ ディ ネス	A	職場の人間関係への理解 職場の人間関係の難しさがある程度知っている。 仕事上の優れたリーダーシップのあり方が分かる。 職業人としての礼儀、作法を心得ている。	3.84		3.75		3.83		3.97		4.44		4.04	
			3.85	3.78	3.64	3.67	3.82	3.77	3.94	3.89	4.38	4.30	4.00	3.95
			3.66		3.63		3.65		3.75		4.09		3.81	
	B	組織で働くことへの理解 上司と部下の人間関係の複雑さを理解できる。 働くことがどういうことか知っている。 組織がどのように運営されているのかある程度わかる。	4.19		4.17		4.19		4.31		4.75		4.38	
3.67			3.76	3.61	3.73	3.66	3.76	4.00	4.03	4.45	4.48	4.07	4.10	
3.42				3.41		3.42		3.77		4.23		3.84		
C	学生と社会人の区別 学生のアルバイトと社会人の仕事は全く違うものである。 意識や考え方における社会人と学生の違いがわかる。 定職に就かずフリーターとしてやっていくことはいやだ。	4.71		4.92		4.74		4.75		5.08		4.80		
		4.20	4.68	4.13	4.80	4.19	4.70	4.49	4.83	4.84	5.10	4.54	4.87	
		5.14		5.34		5.17		5.25		5.39		5.27		
D	ジェンダー問題への気づき 社会の裏側にある汚い面がある程度知っている。 職場に男女差別の問題があることを認識している。 今の社会では、女性が働き続けていくことは大変である。	3.76		3.66		3.74		3.91		4.30		3.97		
		4.36	4.07	4.44	4.01	4.37	4.06	4.41	4.11	4.55	4.20	4.43	4.13	
		4.09		3.94		4.07		4.02		3.77		3.98		
有 能 感	E	実行力 やるべきことを実際、行動に移せる。 やるべきことを最後までやり遂げることができる。 与えられた仕事を上手くこなす自信がある。	4.07		4.11		4.08		4.02		4.36		4.07	
			4.47	4.09	4.42	4.06	4.46	4.09	4.43	4.09	4.63	4.41	4.46	4.14
			3.74		3.64		3.72		3.82		4.25		3.89	
	F	環境適応力 異なった状況や環境にうまく適応できる方だ。 いろいろな困難に耐える精神力がある。 人間関係を通して学ぶすべを知っている。	3.95		4.06		3.97		4.06		4.23		4.08	
4.10			4.02	4.19	4.12	4.11	4.04	3.99	4.04	4.27	4.38	4.04	4.10	
4.01				4.11		4.03		4.08		4.64		4.16		
G	柔軟な物事の見方 広い視野で物事を見るようにしている。 いろんな角度から考えて、動くようにしている。 人それぞれの個性を認めることができる。	4.04		4.25		4.07		4.12		4.69		4.21		
		3.90	4.17	4.20	4.44	3.95	4.21	3.93	4.20	4.66	4.75	4.04	4.28	
		4.57		4.88		4.62		4.54		4.91		4.60		
H	生活規律 今、規則正しい生活を送っている。 毎日休まず働くことができると思う。 取引先や顧客との関係の持ち方を心得ている。	3.35		3.53		3.37		3.40		3.83		3.46		
		4.11	3.66	3.92	3.66	4.08	3.66	3.84	3.65	3.98	3.93	3.86	3.70	
		3.53		3.52		3.53		3.73		3.97		3.76		
自 己 主 体 性	I	社会へのコミット感 自分は社会にとって必要な人間だと思う。 いつかは新しく会社をおこすことに参画する自信がある。 社会の一員としての自分を客観的に見ることができる。	3.45		3.77		3.50		3.56		4.08		3.64	
			2.72	3.28	2.94	3.47	2.76	3.31	2.70	3.36	3.08	3.76	2.76	3.42
			3.67		3.72		3.67		3.81		4.11		3.86	
J	自己理解 自分に欠けている部分をきちんと把握している。 自分の興味・関心について人に説明できる。 自分の進むべき道を十分に認識している。	4.21		4.38		4.24		4.36		4.88		4.44		
		4.09	3.92	4.19	4.16	4.10	3.96	4.15	4.03	4.45	4.46	4.20	4.09	
		3.46		3.91		3.52		3.56		4.05		3.64		

2014 年度インターンシップ・プログラム実施報告書

発行 2014 年 12 月

発行者 公益財団法人 大学コンソーシアム京都

編集者 インターンシップ事業推進室

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都

TEL: (075) 353-9106 FAX (075) 353-9121

<http://www.consortium.or.jp>
